



今日の診療 36

プレミアム

Vol.

DVD-ROM for Windows

Today's Diagnosis and Treatment Premium

ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、「今日の診療」の基本的な使用法を説明しています。

Chapter 1 インストールとアンインストール 1

「今日の診療」を使えるようにする方法と、「今日の診療」を削除する方法を解説します。

Chapter 2 チュートリアル 13

基本となる用語と使い方を解説します。

Chapter 3 さまざまな検索 31

「今日の診療」が持つ多彩な検索方法について解説します。

Chapter 4 もっと便利な使い方 41

より便利に「今日の診療」をお使いいただくための方法を解説します。

Chapter 5 キーボードショートカットおよびメニュー項目一覧 59

すべてのメニュー項目について解説します。

はじめに

このたびは「今日の診療プレミアム Vol.36 DVD-ROM for Windows」をお求めいただき、ありがとうございます。

「今日の診療」は、弊社初の電子出版物として、その開発・改良には最大限の努力を重ねてまいりました。

Vol.36の発行にあたり、収録書籍である「今日の治療指針 2026年版」「治療薬マニュアル 2026」を改訂、内容を刷新いたしました。日々の診療にご活用いただき、ご批評いただければ幸いです。

なお、「今日の診療プレミアム Vol.36 DVD-ROM for Windows」は、お使いになる前にインストールが必要です。本ユーザーズガイドをご参照の上インストールを行ってください。ご利用いただくにはインターネット経由での認証番号の取得が必要です。

今後とも皆様のご要望にお応えして、より優れた製品となるよう努力してまいります。引き続きご愛顧をくださいますよう、お願いを申し上げます。

2026年5月

株式会社医学書院
「今日の診療」編集部

目次

はじめに	III
ご注意	VI
お使いになる前に	VII
動作環境	VIII
収録内容	IX
弊社製品とサービスについて	XI
ユーザーサポート	XII
凡例	XIII
Chapter 1 インストールとアンインストール	1
1.1 インストールの前に	1
1.2 インストール	2
1.3 「.NET Framework 4.8」について	9
1.4 プログラムのアンインストール	10
1.5 旧バージョンとの共存について	11
1.6 インストールされるファイルとその場所	12
Chapter 2 チュートリアル	13
2.1 収録書籍	13
2.2 各部の名称と機能	14
2.3 操作の流れ	18
2.4 一般検索画面の使い方	18
2.5 治療薬検索画面の使い方	21
2.6 本文フレームの表示設定	22
2.7 図表・写真・動画音声のウィンドウ	25
2.8 ユーザー設定	26
2.9 書籍選択ボタン並び順設定	30

Chapter 3	さまざまな検索	31
3.1	書籍の目次から検索	31
3.2	言葉で検索	32
3.3	治療薬マニュアルの検索	35
Chapter 4	もっと便利な使い方	41
4.1	文中語の検索	41
4.2	注釈リスト機能	45
4.3	履歴を使った検索	48
4.4	採用薬リスト機能	49
4.5	さまざまなリスト表示	52
4.6	ショートカット機能とキーボード操作	52
4.7	データの活用と印刷	53
4.8	MedicalFinder 検索	54
4.9	アプリの状態の保存と復元	54
4.10	患者説明資料	55
4.11	医療用計算機	56
Chapter 5	キーボードショートカットおよびメニュー項目一覧	59
	ユーザーサポート用紙	64

ご注意

- (1) 本製品ディスクはデータDVD-ROMです。一般のオーディオ・ビジュアル機器等では絶対に再生しないでください。
- (2) 本製品の内容は著作権法により保護されており、一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (3) 本DVD-ROMはコピーを作成したり、ディスクイメージを仮想DVDドライブやハードディスクに適用したりして使用することはできません。
- (4) 「MedicalFinder」の検索にはインターネット接続環境が必要です。また、本文の閲覧には別途料金がかかる場合があります。
- (5) 初回起動時にインターネット経由での「認証番号」の取得が必要です。
- (6) 本製品をお使いになる前に「使用契約書」をお読みください。インストールには、使用契約書の内容に同意をいただく必要があります。
- (7) 本製品の内容は将来予告なしに変更されることがあります。
- (8) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一疑わしい点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (9) 著者、編集者、ならびに出版社として、本製品に記載されている情報が最新かつ正確であるように最善の努力を払っておりますが、薬の用法、用量、注意事項などは、基礎研究や臨床治験データの蓄積により、ときに変更されることがあります。従って、特に新薬などの使い慣れない薬の使用に際しては、ユーザーご自身で細心の注意を払われるようお願いいたします。
- (10) 本製品記載の治療法・医薬品がその後の医学研究、医療の進歩により本製品発行後に変更された場合に起こりうる不測の事故に対して、著者、編集者ならびに出版社は、その責を負いかねます。ご了承ください。
- (11) コンピューターの技術的な制約のため、各画像、動画、音声などは完全な複製ではありません。
- (12) 本ユーザーズガイドに掲載された製品の画像はすべて開発中のものです。
- (13) Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- (14) 「今日の診療」は株式会社 医学書院の登録商標です。

お使いになる前に

商品の構成

パッケージには以下の物が梱包されています。お確かめください。

- (1) ユーザーズガイド(本書)
- (2) 使用契約書
- (3) 12cmDVD-ROM
- (4) ユーザー登録はがき
- (5) ユーザー登録のお願い
- (6) 「今日の診療」インストールファイルダウンロードについて
- (7) プロダクトIDシール
- (8) 情報保護シール
- (9) 「今日の診療 Web 閲覧権ご利用手順について」

- ▶ (2) : ディスクを封印している使用許諾シールをとりさる前に、使用契約書を必ずお読みください。
- ▶ (4) : ユーザー登録はユーザーサポートや連続購読サービスなどのお知らせをする際に必要となります。必ずご登録ください。オンラインユーザー登録を行った場合には、ユーザー登録はがきのご送付は不要です。
- ▶ (7) : プロダクトIDシールは「今日の診療プレミアム Vol.36」のインストール時やユーザー登録時に必要です。大切に保管してください。

なお、使用許諾シールをとりさった後は、ご返品をお受けできませんので、ご注意ください。

音声の再生について

本製品の音声にはスピーカーでは十分に再生できないものがあります。本製品の音声を再生されるときには、ヘッドフォンのご利用をおすすめいたします。

LAN 上での使用について

本製品はLAN上に共有して使用することはできません。「今日の診療」のLAN対応版については弊社販売・PR部までお問い合わせください。

動作環境

OS：Windows 11。

*仮想システム上のWindowsは動作環境の対象外とさせていただきます。

コンピューター：上記OSが正常に動作可能なPC。

本体搭載メモリ：上記OSの動作条件に準じた容量。

DVDドライブ：8倍速以上推奨（インストール時に使用）。

インターネット接続環境：初回起動時にインターネット接続環境と次のいずれかのブラウザ
〔Microsoft Edge / Chrome / Firefox〕が必要です。

ディスプレイ：1152×864ドット以上表示可能な解像度を持つディスプレイ（1366×768ドット以上のディスプレイを推奨）。

ハードディスク空き容量：4GB以上。

プリンター：上記OSに対応したもの。

ご注意！ 初回起動時にインターネット経由での「認証番号」の取得が必要です。

収録内容

本製品には以下の医学書院発行の書籍、データベースと、その収録部分で用いられている図、写真、表を収録しています（※一部書籍と異なる部分があります）。

- (1) **今日の治療指針 2026年版** 付録 臨床検査データ一覧を除く全頁を収録。書籍未掲載の各項目のエビデンス解説および文献、中毒起因物質データ一覧、口腔関連副作用に注意を要する薬剤・対応、付録 薬物治療モニタリング(TDM)、付録 薬物の副作用と相互作用を収録
2026年1月1日発行
総編集：福井次矢 高木誠 小室一成
- (2) **今日の治療指針 2025年版** 付録を除く全頁を収録。書籍未掲載の各項目のエビデンス、文献を収録
2025年1月1日発行
総編集：福井次矢 高木誠 小室一成
- (3) **今日の診断指針 第9版** 全頁を収録
2025年2月15日発行
総編集：永井良三
- (4) **今日の整形外科治療指針 第8版** 付録を含む全頁を収録
2021年10月1日発行
編集：土屋弘行 紺野慎一 田中康仁 田中栄 岩崎倫政 松田秀一
- (5) **今日の小児治療指針 第17版** 図表の一部を除く全頁を収録。書籍未掲載の各項目の参考文献を収録
2020年12月1日発行
総編集：水口雅 市橋光 崎山弘 伊藤秀一
- (6) **今日の救急治療指針 第2版** 全頁を収録
2012年1月1日発行
監修：前川和彦 相川直樹
編集：杉本壽 堀進悟 行岡哲男 山田至康 坂本哲也
- (7) **臨床検査データブック 2025-2026** 全頁を収録
2025年1月15日発行
監修：黒川清
編集：春日雅人 北村聖 大西宏明
- (8) **治療薬マニュアル 2026** 本文の一部を除く全頁を収録。書籍未掲載の薬物と飲食物・嗜好品との相互作用、薬効分類番号一覧(4桁)を収録
2026年1月1日発行
監修：矢崎義雄
編集：上野文昭 越前宏俊

- (9) **新臨床内科学 第10版** 全頁を収録
2020年3月25日発行
監修：矢崎義雄
編集：徳田安春 浅野浩一郎 筒井裕之 松本主之 持田智 荒木栄一
柴田洋孝 神田善伸 深川雅史 富本秀和 藤田次郎 永田真 上阪等
上條吉人
- (10) **内科診断学 第4版** 付録を除く全頁を収録。「IV. 症例編」は書籍未掲載分も収録
2024年3月31日発行
編集：福井次矢 奈良信雄 松村正巳
- (11) **今日の皮膚疾患治療指針 第5版** 全頁を収録
2022年3月1日発行
編集：佐藤伸一 藤本学 門野岳史 椛島健治
- (12) **今日の精神疾患治療指針 第2版** 全頁を収録
2016年10月15日発行
編集：樋口輝彦 市川宏伸 神庭重信 朝田隆 中込和幸
- (13) **急性中毒診療レジデントマニュアル 第2版** 一部コラムを除く全頁を収録
2012年8月1日発行
監修：相馬一玄
執筆：上條吉人
- (14) **ジェネラリストのための内科診断リファレンス 第2版** 全頁を収録
2024年4月1日発行
監修：酒見英太
執筆：上田剛士
- (15) **医学書院 医学大辞典 第2版** 付録を含む全頁を収録
2009年2月15日発行
総編集：伊藤正男 井村裕夫 高久史磨
- (16) **標準的医療説明** 図表の一部を除く全頁を収録
2021年8月15日発行
編集：一般社団法人 内科系学会社会保険連合

弊社製品とサービスについて

★ユーザー登録のお願い★

製品のユーザーサポートや優待価格での連続購読サービスなどをご利用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

「ユーザー登録はがき」の他に、インターネット経由でオンラインユーザー登録ができます。ユーザー登録はオンラインユーザー登録が簡単・便利です。オンラインユーザー登録は「今日の診療」の「ヘルプ」メニューから「オンラインユーザー登録」を選択して行うことができます。

オンラインユーザー登録では「医学書院ID」との関連付けを行います。「医学書院ID」をお持ちのお客様は、ご登録の前にIDとパスワードをご準備願います。「医学書院ID」をお持ちでないお客様はユーザー登録画面の「医学書院IDを取得(無料)」ボタンをクリックしてIDを取得してください。

オンラインユーザー登録をしていただいたお客様は「ユーザー登録はがき」のご送付は不要です。

住所など登録内容に変更が生じた場合、オンラインユーザー登録をご利用いただいたお客様は、登録完了メールに記載されたアドレスにアクセスして変更手続きを行ってください。「ユーザー登録はがき」のご送付によりユーザー登録をされた場合は、巻末の「ユーザーサポート用紙」を用い、FAXなどで弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。

連続購読サービス

本製品は1年に1回発行され、収録された書籍の改訂にあわせてデータの更新を行っています。ユーザー登録をしていただいたお客様、Vol.36を連続購読申込書にて連続購読されたお客様に限り、Vol.37を連続購読価格にてご案内させていただきます。

なお、連続購読版の購買権は毎年更新されるため、連続してご購入いただけなかった場合は失効となります。ご注意ください。

ユーザーサポート

お問い合わせは、電子メール、電話、FAX、封書、はがき等でお寄せください。なお、FAXでのお問い合わせには、巻末の「ユーザーサポート用紙」をご利用ください。

「今日の診療プレミアム Vol.36 DVD-ROM for Windows」のユーザーサポート期限は、**2028年12月31日**までとさせていただきます。

※ユーザーサポートにはユーザー登録が必要です。お問い合わせの前にユーザー登録のご確認をお願いいたします。

ユーザーサポート窓口

株式会社医学書院 情報ソリューション部 EP開発1課

受付時間：月～金曜日AM9:00～12:00 PM1:00～5:00

(土・日曜、祝日、年末年始、夏期休業は除く)

住所：〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話：03-3817-5799

FAX：03-3815-2365

ユーザーサポート専用電子メールアドレス：customer@igaku-shoin.co.jp

(メールでのお問い合わせには、製品名・PC環境・詳しい症状・ご氏名等を必ず明記してください)

凡例

表記の変更

PCの表示機能上の制約のため、以下の文字については一部のコンテンツにおいて表記を変更しております。ご了承ください。

1. アクセント記号の「˘」「˙」「˚」などは削除しました。
2. ウムラウト「¨」は削除し、該当文字の直後に「e」を追加しました。
※一部、「¨」を削除しただけのものもあります。
3. セディーユは削除し、「ç」は「c」としました。
4. 「 \bar{x} 」など、数式的な意味を持つ記号は〔 〕でくくって字型を表現しました。
例： x 〔 x の上に $-$ 〕

また著者名や本文中に一部PCで表現できない漢字、記号、数式があり、やむなく他の漢字やひらがな、文字、数式に置き換えました。ご容赦ください。

「今日の治療指針」の「処方例」について

疾患ごとに「処方例」を提示しました。処方例は原則として、薬剤名、剤形、規格単位、投与量、用法を記しています。

【記載例】

●単独で用いる場合

処方例 下記のいずれかを用いる

- 1) ドンペリドン(ナウゼリン) OD錠 (10mg) 1回1錠 1日3回 毎食前
- 2) メクロプラミド(プリンペラン)錠 (5mg) 1回1錠 1日3回 毎食前

●組み合わせて用いる場合

処方例 下記を併用する

ラクトミン(ピオフェルミン)配合散 1回1g(製剂量として) 1日3回 毎食後
ベルベリン・ゲンノショウコエキス(フェロベリン)配合錠 1回2錠 1日3回 毎食後

※何剤かの処方を組み合わせて用いる場合は、原則として具体的な投与法を明記しました。

本製品は現時点における最新最良の治療法を眼目としており、必ずしも経済面の配慮はなされていません。しかしながら、昨今の薬剤を取り巻く状況に配慮し、薬剤の保険適用外使用については[保外]として及ぶ限り記しました。なお、[保外]は保険適用外の使用を推奨するものではなく、また、[保外]の有無によって保険適用可否かを保証するものではありません。

[保外]では、効能・効果(適応症)以外の保険適用外使用について、その理由(用法、用量、薬価基準未収載など)を併記しました。

「今日の治療指針」の「第1章 救急医療」[B.手技]の「☆」マークについて

手技のレベル評価

対象となる疾患や患者側の因子を目安に以下の3段階に区分しています。

- (1) ☆ : 医師1人の診療所の一般臨床医であっても、必要があれば施行してほしい手技
- (2) ☆☆ : やや技術や経験、設備を要するが、専門医でなくても施行できることが望ましい手技
- (3) ☆☆☆ : 設備とスタッフが整った場所で、十分な技術と経験を有する者が行う手技

「臨床検査データブック」の「検査各論」の「★」[保][小]マークについて

主要な検査項目名には「★」マークを付しています。「★」の数(1~3個)には、以下に示す意味付けをしています。いずれにせよ「★」マークのある検査項目は全医療関係者が知っておくべき重要かつ主要な項目です。

- (1) ★★★ : いつでもどこでも必要になる検査
- (2) ★★ : 全診療科目で必要になることが多い検査
- (3) ★ : 診療科目によって必要になることが多い検査

[保]は保険適用される検査について、項目名の横に付しています。

[小]は付録「日本人小児の臨床検査基準値」に小児基準値が掲載されている検査について、項目名の横に付しています。

(詳細は「臨床検査データブック2025-2026」の目次を開き、「はじめに」の中の「本書の収録データと凡例」をご覧ください)

「治療薬マニュアル」のロゴマークについて

「治療薬マニュアル」におけるロゴマークや記述の詳細は「治療薬マニュアル2026」の目次を開き、「はじめに」の中の「凡例」をご覧ください。

「医学書院 医学大辞典」の凡例について

「医学大辞典」における凡例は「医学書院 医学大辞典 第2版」の目次を開き、「はじめに」の中の「凡例」をご覧ください。

Chapter 1

インストールとアンインストール

本製品「今日の診療プレミアム Vol.36 DVD-ROM for Windows」(以下「今日の診療」と略します)をご使用になるには、最初にインストール作業を行う必要があります。

DVD-ROM内のすべてのデータをハードディスクにインストールします。DVD-ROMはインストール時のみ使用します。

ハードディスクには検索プログラムとすべてのデータをインストールするため、4GB以上の空き容量が必要です。インストールには20分以上かかる場合があります。

初回起動時にインターネット経由でライセンス認証を行い、認証番号を取得し、入力する必要があります。

1.1 インストールの前に

プログラムのインストールを始める前に、以下の点についてご確認ください。

■製品に添付されている「プロダクトID」をご用意ください。

「今日の診療」をインストールするには、製品に添付されている「プロダクトID」を入力する必要があります。「プロダクトID」は「ユーザー登録はがき」に添付のシールに印刷されています。

■管理者権限 (Administrator) でログオンしてください。

インストールやアンインストールを行うには管理者権限 (Administrator) が必要です。管理者権限を持たないユーザーはインストールできません。

ご注意! 管理者権限 (Administrator) の詳細については使用されているコンピューターのシステム管理者に問い合わせるか、Microsoft Windows 11 などのマニュアルをご参照ください。

■ハードディスクの空き容量を確認してください。

「今日の診療」のプログラムをインストールするには、4GB以上の空き容量が必要です。

■他のプログラムはすべて終了させてください。

インストールの前に、必ず他のプログラムをすべて終了させてください。ウイルス対策ソフトも停止しておいてください。

※「停止」は一時的な操作です。アプリケーションをアンインストールする操作ではありません。

■必ずセットアッププログラムを使用してください。

「今日の診療」のセットアッププログラムを使用して、プログラムをインストールしてください。セットアッププログラムを使用しない場合、正常にインストールできません。

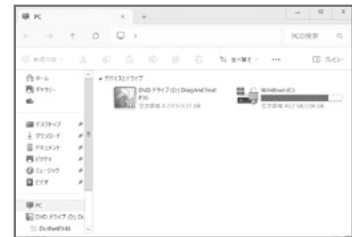
1.2 インストール

※図はWindows 11の画面を使用しています。

※DVDドライブの搭載されていないPCでは、USB接続のDVDドライブもしくは別途ご案内する、医学書院サイトからのダウンロードファイル等をご利用ください。

- 1 DVDドライブに「今日の診療」のディスクをセットし、DVD-ROMを開いて「LAUNCH (.exe)」をダブルクリックしてください。

「選択して、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示される場合は、表示された部分をタップまたはクリックして「メディアからのプログラムのインストール/実行」を選ぶか、エクスプローラーを開き、「PC」内のDVDドライブをロングタップまたは右クリックし、「メディアからのプログラムのインストール/実行」を選んでください。



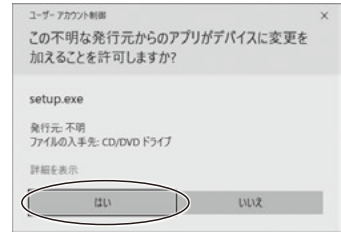
- 2 デスクトップに「今日の診療」のセットアップダイアログ画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックしてください。



ご注意! 「自動再生」のダイアログもセットアップダイアログも表示されない場合には「PC」からDVD-ROMを開き、LAUNCH (.exe)を起動してください。

3 OSの設定によって、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されることがあります。

この場合には「許可(A)」（設定によっては「はい」）をクリックしてください。



ご注意!

PCに「.NET Framework 4.8」がインストールされる旨の画面の表示がされた場合は、「同意する(A)」をクリックしてください。

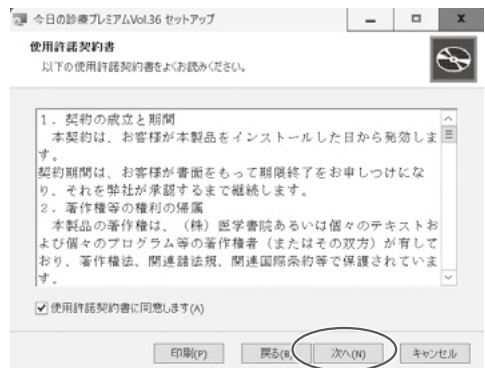
詳しくは、1.3『「.NET Framework 4.8」について』をご参照ください。



4 セットアップウィザードが起動されますので、「次へ(N)」をクリックしてください。



5 使用許諾契約書が表示されます。内容に同意いただける場合は「使用許諾契約書に同意します(A)」のチェックボックスをクリックした後、「次へ(N)」をクリックします。



- 6 プロダクトIDの入力画面が表示されますので、「ユーザー登録はがき」に添付されているシールに印刷されている「プロダクトID」を入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。



- 7 必要に応じてインストール先のフォルダを指定し、「次へ(N)」をクリックします。フォルダの指定をする場合は「変更(C)」をクリックしてください。

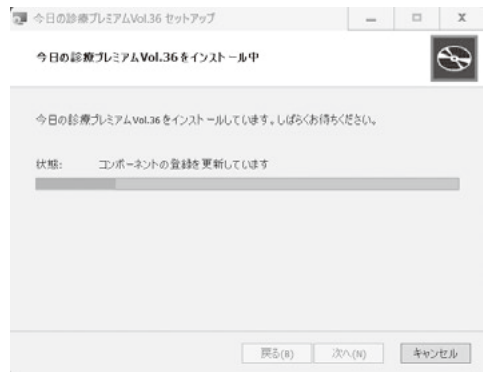


ご注意! すでにデータを書き込んだフォルダや、ハードディスクのルートディレクトリ(C:¥など)にインストールしないよう、ご注意ください。

- 8 インストールについて、最終確認の画面が表示されますので、「インストール(I)」をクリックしてください。



- 9 インストールが始まります。お使いのPC環境によって、インストールが開始されるまで、数分かかる場合があります。また、インストール自体も 20 分程度かかることがあります。



- 10 「今日の診療プレミアム Vol.36 セットアップウィザードが完了しました」というダイアログが表示されますので、「完了(F)」をクリックしてください。

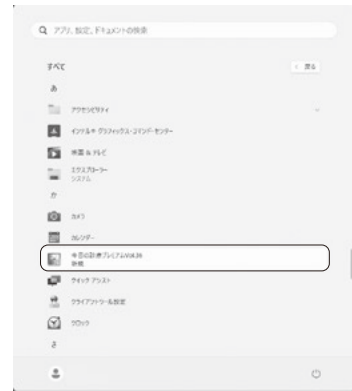


1.2.1 プログラムの起動

プログラムを起動する

初回起動時に認証番号を入力して、製品を登録する必要があります。認証番号はPCをインターネットに接続した状態で「今日の診療」を起動して取得します。

「今日の診療」の起動は、デスクトップの「今日の診療プレミアム Vol.36」のショートカットアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューの「すべてのアプリ」をクリックしてから「医学書院」を開き、「今日の診療プレミアム Vol.36」をクリックして行います。



▲スタートメニュー

「今日の診療」が起動されると、ダイアログボックスが表示され、認証番号の入力を求められます。

PCをインターネットに接続し「認証番号取得」をクリックしてください。自動的に認証番号取得ページが表示されますので、画面の指示に従って、認証番号を取得し、右記の画面に入力して「OK」をクリックしてください。「今日の診療」が起動します。

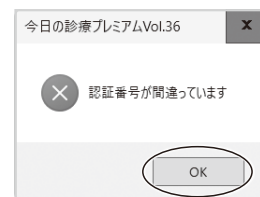
※起動2回目以降は、認証番号取得の必要はありません。



▲認証番号入力画面

入力された認証番号が正確ではなかった場合、認証に失敗した旨のダイアログボックスが表示されます。

「OK」をクリックし、正しい認証番号をご入力ください。

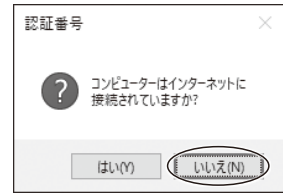


▲認証失敗画面

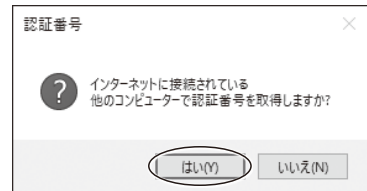
ご注意!

● 別のPCで認証番号を取得するには ●
 インストールされたPCがインターネットに接続されていなくても、別途接続可能なPCをご用意いただければ、以下の手順で認証番号の取得ができます。

- ・通常の手順で起動を行ってください。
- ・「コンピューターはインターネットに接続されていますか?」というダイアログボックスで「いいえ(N)」をクリックしてください。



- ・「インターネットに接続されている他のコンピューターで認証番号を取得しますか?」というダイアログボックスが表示されるので、「はい(Y)」をクリックしてください。



- ・認証番号取得用のショートカットデータである、「今日の診療認証番号_vol36.html」の保存を行うダイアログボックスが表示されるので、保存場所を指定して保存してください。
 - ・上記のデータをインターネット接続のできるPCにUSBメモリなどを使ってコピーし、ダブルクリックしてください。
- ※上記手順にて、認証番号を取得した後、ショートカットデータは削除してください。

1.2.2 認証番号の取得について

インストールは、最大で3台までのPCに行うことができます(ライセンス許諾を受けた特定の1人がご使用の場合)。

認証番号は、インストールしたPCごとに1つずつ発行されます。

これは、3台のPCにインストールする場合、3つの認証番号が発行されることを意味します。

「今日の診療」を再インストールした場合は、前回と同じ認証番号が使えます。また、再インストール後の初回起動時に認証番号の取得を行った場合にも、前回と同一の認証番号が発行されます。ただし、PCの買い替えや、修理によるOSの再インストールなどを行った場合は新たな認証番号が必要になります。

PCの買い替えなどでPCの登録数が増加し、3台を超えて認証番号が必要になった場合、認証番号取得の際に、追加が必要となった理由を申告いただく必要があります。

詳細は、本製品に同梱されている「使用契約書」をご覧ください。

1.2.3 認証番号取得時に、お得なオンラインユーザー登録を!

「今日の診療」は、連続してご購入の場合、最新版を割引価格でお求めいただける「連続購読版」を用意しております(Vol.37の連続購読版の価格は未定です)。

「連続購読版」のご購入や、ユーザーサポートをお受けいただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録は「今日の診療」の「ヘルプ(H)」メニューから「オンラインユーザー登録」を選ぶと表示される、ユーザー登録画面で行うことができます。一度登録を行いますと、次回、Vol.37のご登録作業では、入力項目が省略でき、より簡単です。また、オンライン以外にもパッケージ同梱の「ユーザー登録はがき」でもご登録いただけます。オンラインでご登録のある方が、「はがき」をご送付いただいた場合、オンライン登録の内容が優先されますので、ご注意ください。

はがきでの登録には「プロダクトIDシール」1枚の貼り付けが必要ですが、残りのシールについては、予備として大切に保管してください(再インストールの際等に必要となります)。

オンラインユーザー登録の準備

オンラインユーザー登録を開始するにあたって、以下のものを準備してください。

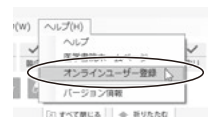
■メールアドレス(携帯電話のアドレスはご使用いただけません)

※すでに旧Volumeの「今日の診療」でユーザー登録が済んでいる場合や、「医学書院ID」をご取得済みの場合には、その際にご利用のメールアドレスをお使いください。

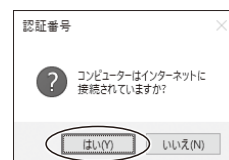
■パスワード(6文字以上10文字以内の任意の文字列をご指定ください)

※登録に使用したメールアドレス、パスワード、プロダクトIDは大切に保管してください。
※オンラインユーザー登録は、下記手順の他、認証番号の取得時に行うこともできます。

- 1 メニューバーの「ヘルプ(H)」から「オンラインユーザー登録」を選んでください。



- 2 「コンピューターはインターネットに接続されていますか?」のメッセージが出ますので、インターネットに接続してください。



- 3 接続を確認したら「はい(Y)」をクリックします。

ご注意! インターネット接続に関する問題に関しては、ご使用のコンピューターに関するマニュアルや契約されているプロバイダのガイド等をご参照ください。インターネット接続に関するお問い合わせにはお答えいたしかねます。

- 4 「製品情報の登録(ユーザー登録)」のページが表示されますので、ユーザー登録のために必要な項目を入力し、送信してください。

医学書院に、はじめてユーザー登録をされる場合は「医学書院IDを取得(無料)」をクリックしてください。必要情報の入力完了後送信すると、ユーザー登録は完了です。医学書院から「医学書院ユーザー登録完了のお知らせ」メールが届きます。このメールは大切に保存してください。

1.2.4 プログラムの終了

■メインウィンドウの右上にあるクローズボックスをクリックする



■メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択する

■CtrlキーとQキーを同時に押す(AltキーとF4キーを同時に押しても同様です)

終了のショートカットキーです。これも正規のプログラム終了手順ですが、以下の方法も覚えておくと素早くプログラムを終了させることができ便利です。

Ctrl + **Q** or **Alt** + **F4**

1.3 [.NET Framework 4.8]について

「今日の診療」の動作には、PCに「.NET Framework 4.8」がインストールされていることが必要です。

「.NET Framework 4.8」は通常、Windows Updateにより自動的にインストールされますが、何らかの理由でインストールされていない場合は、「今日の診療」をインストールする前に「.NET Framework 4.8」のインストールダイアログ画面が表示されます。ライセンス条項が表示されますので、内容に同意いただける場合は「同意する(A)」をクリックしてください。

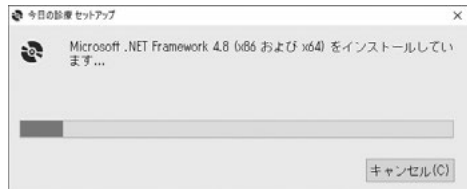


「ユーザーアカウント制御」のダイアログボックスが表示される場合は「はい」をクリックしてください。



「.NET Framework 4.8」のインストールが始まります。完了したら、「今日の診療」のインストールを続けます。

※インターネット接続環境の有無等によっては多少時間がかかる場合があります。



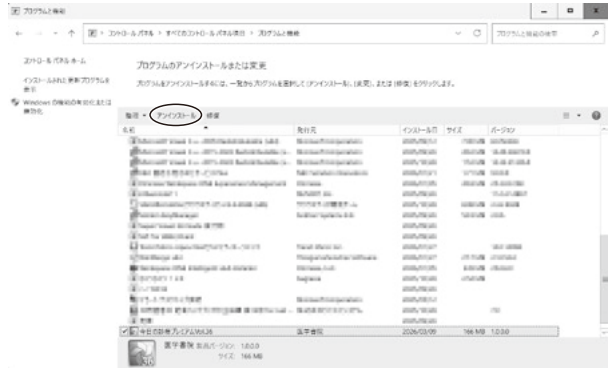
1.4 プログラムのアンインストール

ハードディスクからプログラムを削除する場合は、以下の手順で行います。

- 1 (a) スタートメニューの「すべてのアプリ」で、「今日の診療プレミアム Vol.36」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「アンインストール」を選択します。



- 1 (b) または、「コントロールパネル」の「プログラムと機能」のダイアログボックスで「今日の診療プレミアム Vol.36」を選択し、上部にある「アンインストール」をクリックします。



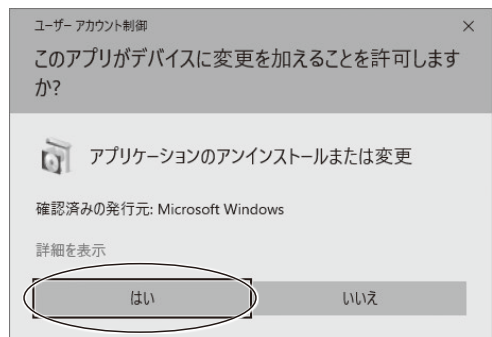
「今日の診療プレミアム Vol.36」を選び、「アンインストール」をクリックします

- 2 (a)(b)共通で、続けて「アンインストールの確認」のダイアログボックスで「はい(Y)」をクリックします。

プログラムのアンインストール作業が開始されます。



- 3 「ユーザーアカウント制御」のダイアログボックスが表示される場合は「はい」をクリックしてください。



1.5 旧バージョンとの共存について

「今日の診療」の旧バージョンをご使用であった場合、「今日の診療プレミアム Vol.36」をインストールしても、旧バージョンのファイルやフォルダはそのまま残っています※。ご使用いただく上で問題はございませんが、不要でしたら旧バージョンをアンインストールの上ご使用ください。

※それぞれ個別のフォルダにインストールしている場合。

1.6 インストールされるファイルとその場所

「今日の診療」をインストールすると、デフォルト(初期値)ではシステムドライブ下の「Program Files (X86)」フォルダに「医学書院」というフォルダを作成し、さらにその下に「今日の診療プレミアム Vol.36」というフォルダを作成します。ここに必要なファイルが置かれます。

また、ユーザーがインストールする場所(フォルダ)を指定することも可能です。その中に「今日の診療」のファイルが置かれます。ただし、すでにデータの書き込まれたフォルダや、起動ハードディスクのルートディレクトリ(C:等)には絶対にインストールしないようにしてください。

インストール時にはファイルコピーと同時に、スタートメニューへの登録と、デスクトップ上へのショートカットアイコンの作成が行われます。

Chapter 2

チュートリアル

インストールが終了したら、「今日の診療」を操作する上で必要な基礎知識を解説します。

なお、文中の「クリック」は、タッチパネルでは「タップ」に、「右クリック」は「ロングタップ」に相当しますので、そのように読みかえてください。

2.1 収録書籍

「今日の診療」には以下の書籍の内容を収録しています。各書籍に該当する略称は以下のとおりです。

	略称
(1) 今日の治療指針 2026年版	26治
(2) 今日の治療指針 2025年版	25治
(3) 今日の診断指針 第9版	診断
(4) 今日の整形外科治療指針 第8版	整形
(5) 今日の小児治療指針 第17版	小児
(6) 今日の救急治療指針 第2版	救急
(7) 臨床検査データブック 2025-2026	検査
(8) 治療薬マニュアル 2026	薬
(9) 新臨床内科学 第10版	臨床
(10) 内科診断学 第4版	内科
(11) 今日の皮膚疾患治療指針 第5版	皮膚
(12) 今日の精神疾患治療指針 第2版	精神
(13) 急性中毒診療レジデントマニュアル 第2版	中毒
(14) ジェネラリストのための内科診断リファレンス 第2版	内リ
(15) 医学書院 医学大辞典 第2版	辞典
(16) 標準的医療説明	説明

2.2 各部の名称と機能

「今日の診療」画面各部の名称と機能は以下のとおりです。



コントロールフレーム

「今日の診療」を操作する上で特に重要なのが、画面上部に置かれているコントロールフレームと書籍選択ボタンです。

コントロールフレームと書籍選択ボタンを使って、「検索の前段階として検索対象とする書籍を選択する」「検索語を入力する」「検索を実行する」「識別コード検索を実行する」「文字サイズを変更する」などの操作を行うことができます。

また、一般検索画面では、インターネットに接続できる環境の場合、電子ジャーナルサイト「MedicalFinder」に収録された記事を検索することもできます。

※「MedicalFinder」本文の閲覧には、別途料金がかかる場合があります。

さらに、上部の「一般検索」「治療薬検索」の検索画面切替ボタンをクリックすることによってコントロールフレームに表示される内容が切り替わり、さまざまな検索を実行することができます。



リストフレーム

「書籍目次」「検索結果」「注釈」「履歴」「採用薬」リストを表示するフレームです。その他、「図表・写真・動画音声」リストを表示することができます。上部のタブをクリックすることで、表示内容を切り替えることができます。

■書籍目次

書籍の目次を探して検索するときにクリックして目次を表示し、書籍名→章目次→項目とクリックしていくことで、本文を表示します。

■検索結果

コントロールフレームの検索語入力枠に言葉を入力して検索すると、自動的にこのタブに切り替わり、検索結果がリストアップされます。表示されている項目を選んでクリックすると、該当の本文が開きます。

■注釈

よく参照する項目を登録して、メモを書き込んでおくことができます。詳しくは4.2「注釈リスト機能」をご覧ください。

■図表・写真・動画音声

書籍に含まれる図表・写真・動画音声の一覧がここに表示されます。

■履歴

これまでに表示された本文の履歴がリストアップされます。

■採用薬

「治療薬マニュアル」で具体的な薬剤名を表示したときに、「採用薬」アイコンをクリックすると、このタブに登録しておくことができます。詳しくは4.4「採用薬リスト機能」をご覧ください。



リストフレーム(書籍目次)

本文フレーム

書籍の内容を表示するフレームです。

本文の内容によって、図表や参照項目が本文サブフレームに表示されます。

項目を表示するごとに、本文タブが右に追加されていきます。

一度に開くことができるタブ数は「ファイル」メニュー>「ユーザー設定」の「最大タブ表示数」で10件・20件・30件の中から選ぶことができます。

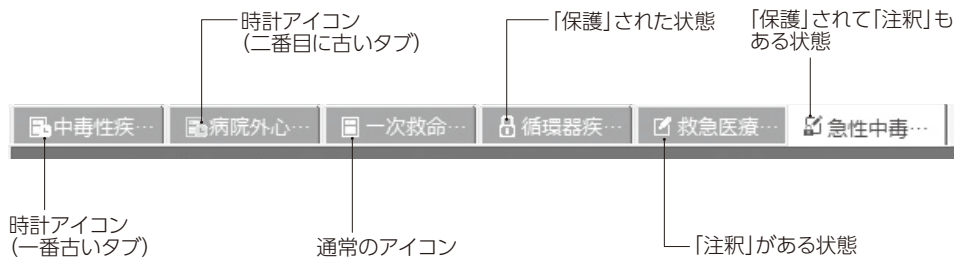
表示タブ数が最大に達すると、一番古いタブには白い時計アイコン、二番目に古いタブには灰色の時計アイコンが表示されます。

最大タブ数を超えて表示した場合、最も長い間切り替え表示されなかったタブから自動的に閉じます。

タブを継続して表示しておきたい場合には、本文タブの下に本文機能バーにある「かぎアイコン」をクリックして保護状態にすると、自動的に閉じられなくなります。この場合は、「すべて閉じる」ボタンを押しても閉じられません。



保護されている本文タブはアイコンが変化しますので、その本文が別の本文の下に隠れていても、それが保護されていることがわかります。

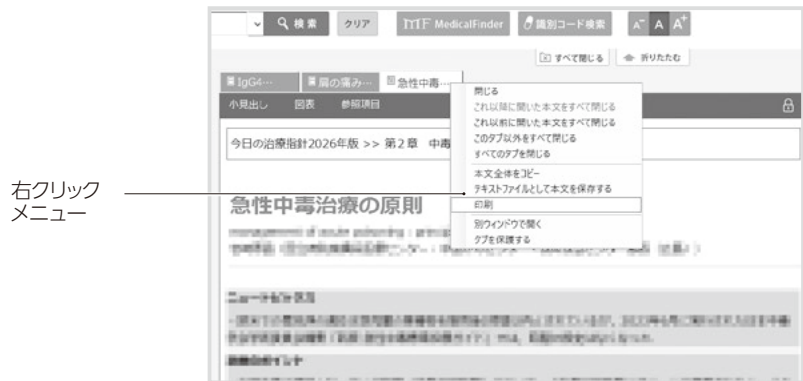


▲本文タブの状態とアイコン

表示する本文タブの切り替えを行っても本文タブの表示順は変わりません。また、本文タブには項目名の先頭数文字が表示されていますので、これを見て項目を識別することも可能です。さらに、本文タブをダブルクリックすると、その本文が別ウィンドウに表示されます。これにより、複数の関連する項目を並べて表示する、といった使い方もできます。

表示されている本文を別ウィンドウで開くには、本文タブを右クリックすると表示されるメニューから機能を選ぶ方法もあります。このメニューには他にも以下の機能があります。

- ・本文タブを閉じる機能
- ・表示されているテキストをWindowsのクリップボードにコピーする機能
- ・テキストファイルとして保存したり印刷したりする機能
- ・本文タブを保護する機能



本文タブの下の「本文機能バー」には、左側に「小見出し」「図表」「参照項目」「処方例」、右側に「採用薬アイコン」「かぎアイコン」「×アイコン」のボタンが配置されています。

「処方例」「採用薬アイコン」は「治療薬マニュアル」の項目にのみ表示されます。

■小見出し

表示されている項目の小見出しを左のリストフレームの「書籍目次」に表示します。

■図表

表示されている項目の図表を右の本文サブフレームに「図表リスト」として表示します。

■参照項目

表示されている項目の他項目への参照リンクの一覧を右の本文サブフレームに「参照項目リスト」として表示します。

■処方例

「治療薬マニュアル」の項目にのみ表示されます。右の本文サブフレームに「処方例」のリストを表示します。

■採用薬アイコン

「治療薬マニュアル」の項目にのみ表示されます。クリックすると表示されている項目が「採用薬」のリストに登録され、左のリストフレームに表示されます。

■かぎアイコン

タブが自動的に閉じないように保護します。

■×アイコン

それぞれのリストや本文そのものを閉じるときにクリックします。

表示されている本文の上に、項目の書籍内における階層構造（ディレクトリ）が表示されており、クリックすると、リストフレームに該当する目次項目を表示します。



2.3 操作の流れ

基本的な操作の流れは、大きく分けて「目次から項目を開く」「言葉で検索して項目を開く」の2つがあります。

また、「今日の診療」では、画面上部のコントロールフレームにある、2つの検索画面切替ボタンと各書籍の選択ボタンを使って項目を検索することができます。

2.4 一般検索画面の使い方

■「一般検索」ボタン

検索機能の切り替えに使用します。「一般検索」は、選択した書籍を対象に、言葉（検索語）をキーに全文を検索する機能です。検索語は複数指定できます。詳しくは後述の「■検索語入力枠」をご覧ください。すでに一般検索画面に切り替わっている場合はクリックしても反応しません。

■「治療薬検索」ボタン

「治療薬マニュアル」専用の検索を行う際に使用します。薬品名や適応症、製薬会社など細かい分類による条件検索が可能です。治療薬検索画面を表示している間は、書籍選択ボタンは表示されません。また、すでに治療薬検索画面に切り替わっている場合はクリックしても反応しません。詳しくは2.5「治療薬検索画面の使い方」をご覧ください。

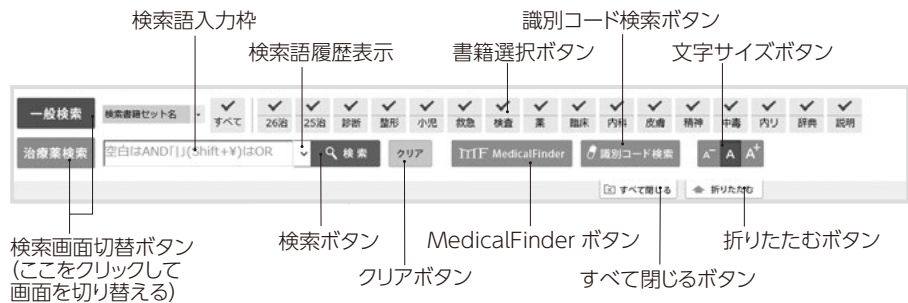
■「検索書籍セット名」メニュー

検索する書籍を一部に限定し、その組み合わせを保存しておくことができます。「ユーザー設定」の「検索書籍セット設定」で設定します。詳しくは2.8「ユーザー設定」をご覧ください。

■「書籍選択」ボタン

収録書籍それぞれを検索対象に設定したり、解除したりする際に使います。書籍の略称と、その上にそれに対応するチェックボックスが配置されており、チェックボックス部分のクリックによりチェックがついたり消えたりします。チェックがついた状態が検索対象になっている状態です。「すべて」をクリックすることにより、すべての書籍のチェックをつけたりはずしたりできます。また、書籍の略称をクリックすると、その書籍の目次がリストフレームに表示されます。書籍選択ボタンは、一般検索画面が表示されているときだけ表示されています。

書籍選択ボタンは順番の並べ替えをすることができます。詳しくは2.9「書籍選択ボタン並び順設定」をご覧ください。



■検索語入力枠

検索する言葉を入力します。「インクリメンタルサーチ」が行えます。

※「インクリメンタルサーチ」について

検索枠に1文字入力するごとに絞り込み検索を行って入力候補を表示する機能です。

この機能は「ファイル」メニューの「ユーザー設定」でON / OFFの切り替えができます。(→2.8「ユーザー設定」)

右端の▼をクリックすると、起動してからの検索語の履歴が表示されます(上限10件)。なお、履歴は「ユーザー設定」で「今日の診療」終了時に消去されるよう設定できます。入力枠は1つですが、空白や、「|」(Shift + ¥で入力できます)を間に入れることにより、検索語を複数指定できます。なお、検索する言葉自体に「|」や句読点を含めることはできません。

検索語の内容により、例えば以下のような検索を実行できます。

入力内容	入力内容の意味
“検索語1 検索語2 検索語3”	“検索語1 and 検索語2 and 検索語3”
“検索語1 検索語2 検索語3”	“検索語1 or 検索語2 or 検索語3”
“検索語1 検索語2 検索語3”	“検索語1 and 検索語2 or 検索語3”
“検索語1 検索語2 検索語3”	“検索語1 or 検索語2 and 検索語3”
“検索語1 検索語2”	“検索語1 and 検索語2”
“検索語1 検索語2”	“検索語1 or 検索語2”

■「検索」ボタン

選択された書籍を対象に「検索語入力枠」に入力された言葉で検索を実行します。

■「クリア」ボタン

「検索語入力枠」に入力されている言葉を消去します。

■「MedicalFinder」ボタン

「検索語入力枠」に入力された検索語を使って、電子ジャーナルを検索します。なお、「MedicalFinder」ボタンのご使用にはインターネット接続環境が必要です。また、本文の閲覧には、別途料金がかかる場合があります。

この機能を利用しない場合には、「ユーザー設定」で、このボタンを表示しないように設定できます。

■「識別コード検索」ボタン

このボタンをクリックすると、識別コード検索画面が別ウィンドウで表示されます。

マークや英数字を入力することで、それらを識別コードに持つ薬剤を検索することができます。

詳しくは3.3.3「識別コードによる検索」をご覧ください。

■「文字サイズ」ボタン

「A⁻」「A」「A⁺」(文字サイズ)ボタンをクリックすると、フレーム内の文字サイズを変更することができます。

デフォルトの状態から、「A⁺」を1回クリックすると1サイズ、2回クリックすると2サイズ大きく表示されます。逆に「A⁻」を1回クリックすると1サイズ、2回クリックすると2サイズ小さく表示されます。全部で5段階から、好みのサイズでご覧いただくことができます。

どのサイズで表示されていても、「A」をクリックすると、通常サイズに戻ります。

■「すべて閉じる」ボタン

「本文フレーム」に表示された本文タブを一度にすべて閉じます。ただし、保護された本文タブを閉じることはできません。

■「折りたたむ」ボタン

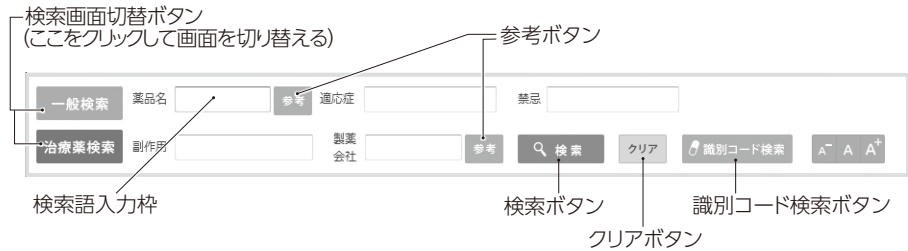
「今日の診療」のコントロールフレームだけを残し、他の部分を一時的に非表示の状態にします。このとき「折りたたむ」ボタンの位置には「開く」ボタンが現れ、これをクリックすることで元に戻ります。画面の一部に「今日の診療」を表示したまま待機させておきたいときなどに使います。

■コントロールフレームのスキンについて

コントロールフレームは、お好みに応じて6種類のパターンの背景を表示できます。切り替えは、「ファイル」メニューの中の「ユーザー設定」で行えます。

2.5 治療薬検索画面の使い方

「治療薬マニュアル」で条件検索をするときには治療薬検索画面に切り替えます。治療薬検索画面独自の方法で検索を実行できます。



■「一般検索」ボタン

検索機能の切り替えに使用します。「一般検索」は、選択した書籍を対象に、言葉（検索語）をキーに全文を検索する機能です。検索語は複数指定できます。詳しくは2.4「一般検索画面の使い方」の「■検索語入力枠」をご覧ください。すでに一般検索画面に切り替わっている場合はクリックしても反応しません。

■「治療薬検索」ボタン

「治療薬マニュアル」専用の検索を行う際に使用します。薬品名や適応症、製薬会社など細かい分類による条件検索が可能です。治療薬検索画面を表示している間は、書籍選択ボタンは表示されません。また、すでに治療薬検索画面に切り替わっている場合はクリックしても反応しません。

■薬品名・適応症・禁忌・副作用・製薬会社の各検索語入力枠

検索したい項目ごとに検索語入力枠に検索語が入力でき、複合検索が行えます。

■「参考」ボタン

治療薬検索画面の「薬品名」「製薬会社」の2つの入力項目には検索語の入力を支援する「参考」ボタンがあります。この「参考」ボタンをクリックすると参考リストが別ウィンドウで表示され、検索したい語を探ることができます。あいうえお順に整理されていますので、頭文字から検索語を探し出したときに便利です。表示されたリストの項目をクリックすると、検索語入力枠に検索語としてそれを入力し、検索を実行します。また、検索語入力枠に文字を入力した状態で「参考」ボタンをクリックすると入力された文字と前方一致した語句を参考リストに一覧表示します。

■「検索」ボタン

「検索語入力枠」に入力された条件で検索を実行します。

■「クリア」ボタン

「検索語入力枠」に入力されている言葉をすべて消去します。

■「識別コード検索」ボタン

このボタンをクリックすると、識別コード検索画面が別ウィンドウで表示されます。

マークや英数字を入力することで、それらを識別コードに持つ薬剤を検索することができます。

詳しくは3.3.3「識別コードによる検索」をご覧ください。

2.6 本文フレームの表示設定

検索結果が表示されるリストフレームから目的の項目を選択すると、その内容が本文フレームに表示されます。本文タブは通常は10件まで、ユーザー設定により最大30件まで表示でき、フレーム上部の本文タブをクリックして本文フレームの表示画面を切り替えることができます。本文タブの使い方は2.2「各部の名称と機能」の「本文フレーム」をご参照ください。

本文フレームでは、文字サイズを変更することができます。

■文字サイズの変更

コントロールフレームの「A-」「A」「A+」(文字サイズ)ボタン以外に、次の方法で本文の文字サイズを変更することができます。

Ctrlキーを押しながら↑キーまたは↓キーを押すと、本文フレームの文字サイズが変更できます。

Ctrlキーを押しながら0(ゼロ)キーを押すと、デフォルトのサイズに戻ります。

本文フレームの文字サイズは、「ファイル」メニューにある「ユーザー設定」の「フォントサイズ」で、極大、大、中、小、極小の5段階の大きさから選択することもできます。

※別ウィンドウで開かれている状態の本文は、開き直すまで文字サイズは変わりません。





■検索語の着色表示



本文中に検索語がある場合は、反転着色の上で表示されます。ただし、同義語や文字種の違い(濁音、半濁音は清音として扱われます)による一致の場合は本文中に検索語と同一の文字がないため、着色表示はされません。また、「注釈リスト」と重なった場合は注釈リストが優先されます。色は「ユーザー設定」で変更することができます。

■注釈リストの着色表示

「今日の診療」の本文内をドラッグして選択し、右クリックして「注釈リストに追加」を選択すると、その中に含まれている検索語に色でマーキングし、コメントをつけることができます。このマーキングは、本文を閉じても保持され、検索や目次で開いた場合も表示されます。

■本文中の図表アイコン

「今日の診療」には、収録している書籍中の写真、画像や図表が収録されています。これらは文中の   や   をクリックすることによって開くことができます。表には、画像の形式のものと、リンクが埋め込まれたもの(テキスト表)があります。

また、動画と音声も収録しており、これらも同様に本文中の  や  をクリックすることによって開くことができます。

ご注意! PCの購入直後など、Windows Media Playerの設定が行われていない場合には設定を求められることがあります。画面の指示にしたがって設定していただければ、正常に動画・音声の再生ができます。

「⇒」は他項目へのリンクであり、これをクリックすると関連の項目を開くことができます。

「治療指針」から「治療薬マニュアル」へのリンク「⇒」にマウスカーソルを重ねると、薬の一般名がポップアップ表示されます。また、腎機能障害のある患者(重症度は問わない)、肝機能障害のある患者(重症度は問わない)、妊婦、授乳婦、小児、高齢者への投与が禁忌などとされており、注意が必要な薬では「!腎異常」「!肝異常」「!妊婦」「!授乳婦」「!小児」「!高齢者」などが、一般名に加えて表示されます。

■本文機能バー

本文タブの下の「本文機能バー」には、左側に「小見出し」「図表」「参照項目」「処方例」、右側に「採用薬アイコン」「かぎアイコン」「×アイコン」が配置されています。

「処方例」「採用薬アイコン」は「治療薬マニュアル」の項目にのみ表示されます。

■本文機能バー「小見出し」の表示について

本文内容の小見出し一覧を、左の「リストフレーム」の「書籍目次」に表示します。

■本文機能バー「図表」

本文内容に写真や画像、図表がある項目では、図表リストを右の「本文サブフレーム」に表示します。クリックすると別ウィンドウにそれらを表示します。詳細は2.7「図表・写真・動画音声のウィンドウ」をご覧ください。

■本文機能バー「参照項目」

本文内容の参照項目リンクを、右の「本文サブフレーム」に一覧表示します。クリックすると、その項目を開きます。

■本文機能バー「処方例」

「治療薬マニュアル」の項目にのみ表示されます。本文内容の処方例リンクを、右の「本文サブフレーム」に一覧表示します。

■本文機能バー「採用薬アイコン

「治療薬マニュアル」の項目にのみ表示されます。クリックすると「採用薬」のリストに登録され、左の「リストフレーム」に表示されます。

■本文機能バー「かぎアイコン」

本文タブがその最大数に達すると、以降は新しい項目を開くたびに、表示されなくなってから最も時間が経過した項目を自動的に閉じます。特定の項目を自動的に閉じないようにしたい場合、その本文タブを選択して「かぎアイコン」をクリックすると保護された状態になり、閉じることができなくなります。再度クリックすると解除されます。

■本文機能バー「×アイコン」

その本文タブを閉じます。

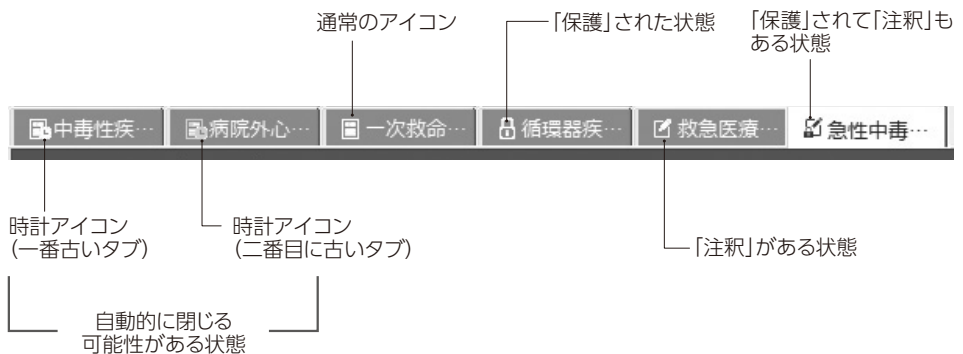
■本文の別ウィンドウでの表示

本文タブをダブルクリックすると、該当する本文を別の独立したサブウィンドウで表示します。同時に20項目を開くことができます。それぞれのサブウィンドウはウィンドウ内にある「×」や「ファイル」メニューの「本文タブを閉じる」や「本文タブをすべて閉じる」を選択して閉じることができます。

■本文タブのアイコンについて

本文タブは「通常」の状態と、多数の本文タブを開いたときに自動的に閉じる可能性がある状態、自動的に閉じない「保護」された状態、「注釈」がある状態、そして、「保護」されて「注釈」もある状態の5つの状態をとります。

それぞれの状態について、タブにアイコンが表示されます。保護機能等については2.2「各部の名称と機能」の「本文フレーム」をご覧ください。



2.7 図表・写真・動画音声のウィンドウ

本文中に収録されている写真や図表は画像用のサブウィンドウに表示されます。本文表示用の別ウィンドウとあわせて一度に20枚まで開くことができます。

動画や音声は通常はWindows Media Playerを使用して再生します。PCの購入直後など、Windows Media Playerの設定が行われていない場合には、設定を求められることがあります。画面の指示にしたがって設定していただければ、正常に動画・音声の再生ができます。再生後はウィンドウを閉じてください。

メニューバーの「ファイル」から写真や図表をファイルに保存したり印刷したりすることもできます。また、「画像イメージ」メニューを使って図や写真の表示サイズを変えることもできます。

メニューバー
ここをクリックすると
ウィンドウが閉じます



画像用サブウィンドウ

2.8 ユーザー設定

メニューバーの「ファイル」から「ユーザー設定」を選ぶと、以下の設定をすることができます。



ユーザー設定画面

■検索結果のソート

全文検索において、検索結果のリスト内の該当項目を、収録書籍順かヒット件数順（降順）に並べ替えることができます。「ヒット件数」は、本文に登場する検索語と、その同義語の数から求められます。

「書籍順」か「ヒット件数順」のいずれかをラジオボタンで選びます。ここで行った設定は次回検索時に有効になります。また、「ヒット件数順」を選ぶと、後述の「ヒット件数を算出しない」オプションは設定できなくなります。どちらを選んだ場合でも本文タイトルに検索語を含むものがある場合は、その項目を上位に表示します。

また、「ヒット件数順」の右下にある「設定」ボタンをクリックすることにより「書籍順」の表示順位を変更できます。

■検索語を含む見出し語を優先する

検索語を使って全文検索をした場合、検索語と一致する項目をリストフレームに収録書籍順に並べます。初期値は「検索語を含む見出し語を優先する」設定になっています。また、「検索結果のソート」が「ヒット件数順」になっている場合には、自動的にチェックが入った状態になり、変更できなくなります。

■ヒット件数を算出しない

検索語を使って全文検索をした場合、リストフレームに表示された検索結果の該当項目の冒頭に数字が表示される場合があります。これは、検索に該当した項目の本文に検索語とその同

義語が何件含まれているかを示す数字です。「##」は該当項目の本文内に検索語が100件以上含まれていることを示します。

同義語を含む検索を行ってカウントしているため、表示された件数と本文中に出現する語数が一致しない場合があります。厳密な検索該当件数ではなく、目安とお考えください。

また、検索語が項目名に含まれる場合には、検索該当件数の代わりに「★」が表示されます。

「ヒット件数を算出しない」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れると、この機能が働かなくなりますが、「★」を表示する機能はオフになりません。

■前回終了時のタブ状態を保存する

前回「今日の診療」を終了した際の本文タブの状態ですら起動します。

■終了時に履歴をクリアする

「今日の診療」は最近表示した本文100件の履歴を保存しています。履歴は、リストフレームの「履歴」タブから参照できます。この設定を行うことにより、「今日の診療」終了時に履歴をすべて消去します。

■終了時に検索語履歴をクリアする

「今日の診療」は最近使用した検索語の履歴(上限100件)を保存しています。この設定により、終了時に履歴をすべて消去します。

■謹告を再表示しない

「今日の診療」起動時に謹告画面(ご注意)が再表示されないようにします。チェックボックスをクリックしてチェックを入れると再表示しなくなります。初期値は謹告画面を表示するようになっています。

■目次と同期しない

本文フレームに開いている項目が、書籍のどの目次に含まれている項目なのかを示すため、目次リストが自動的に開きます。

このチェックボックスをクリックしてチェックを入れると、この機能が働かなくなります。

■本文タブのダブルクリック補足を表示しない

本文タブにマウスカーソルをあわせると、長くて本文タブには表示しきれない本文タイトルがバルーン表示されます。このときに、ダブルクリックを行うと、本文を別ウィンドウに表示できることをユーザーにお知らせしています。しかし、この表示が不要な場合には、チェックボックスをクリックしてチェックを入れると表示をしないように設定できます。

■検索語入力例を表示しない

「一般検索」において、検索語に空白文字(スペース)やパイプ文字(|)を入れるとand検索やor検索ができることを表示していますが、これを表示する/しないを選択することができます。

■サムネイル画像を表示しない

この設定を有効にすると本文サブフレームの図表リストにサムネイルを表示しません(タイトルのみ表示)。

■新たに本文を開くとき小見出しリストも開く

新しく本文を開くとき、小見出しリストも開いた状態で表示させる場合、チェックを入れます。

■インクリメンタルサーチを有効にする

「一般検索」において、検索枠に1文字入力するごとに絞り込み検索を行って入力候補を表示する「インクリメンタルサーチ」の機能を有効にします。

■MedicalFinder 検索ボタンを表示する

「一般検索」において、電子ジャーナルサービス「MedicalFinder」の検索を行う場合にチェックをします。なお、この機能を利用するにはインターネット接続環境が必要となります。また、本文の閲覧には別途料金がかかる場合がありますので、ご注意ください。

■フォントサイズ

本文表示に使用する文字フォントの大きさを設定します。「極大」「大」「中」「小」「極小」の5段階から選択できます。この設定が反映されるのは本文表示とリスト表示、識別コード検索画面、およびテキスト表に限られます。画像として表示されている表などには反映されませんのでご注意ください。

■検索結果表示件数

検索結果としてリストフレームに一度に表示される項目数を設定します。検索結果がこの設定数より多い場合は、リストフレーム上端と下端にある「次のXX件」「前のXX件」リンクをクリックすることで表示できます。

■検索語着色

「今日の診療」は、全文検索の結果として本文を表示した場合、その中に含まれている検索語を色でマーキングします。このボックスの「▼」をクリックすると、マーキング色を選択することができます。

■登録語着色

「注釈リスト」機能を使用して、マーキングをする際の色を指定します。このボックスの「▼」をクリックすると、マーキング色を選択することができます。

「検索語の着色表示」より優先して着色されますが、同じ色を選んだ場合、検索語に一致しているために着色されているのか、注釈リスト機能により着色されているのか、区別がつかみませんのでご注意ください。

■スキン選択

コントロールフレームの装飾を6種類のパターンから選ぶことができます。このボックスの「▼」をクリックして、選択してください。

■最大タブ表示数

本文フレームの最大タブ表示数を設定します。10件・20件・30件のいずれかを選択します。

■検索書籍セット設定

検索する書籍を一部に限定し、その組み合わせを保存しておくことができます。「設定画面を表示」ボタンをクリックすると、「検索書籍セット画面」が表示されます。

・新規検索書籍セット名

新規に保存する検索書籍セット名を入力欄に入力し、「新規追加」ボタンをクリックします。

・「検索書籍セット名を選択」ボックス

現在保存してある検索書籍セット名の一覧が表示されます。ここで検索書籍セット名を選択すると、そのセットに登録されている書籍が下の「選択済み書籍」に表示されます。

・検索書籍セットに追加する書籍を選択

上の「検索書籍セット名を選択」メニューで選択した検索書籍セットに追加登録可能な書籍の一覧を表示します。デフォルトは全書籍が追加済みになっているため空白になっている場合があります。

書籍を選択し、「>>」ボタンをクリックすると検索対象として追加されます。

・選択済み書籍

上の「検索書籍セット名を選択」メニューで選択した検索書籍セットに登録されている書籍の一覧を表示します。

書籍を選択し、「<<」ボタンをクリックすると検索対象から除外されます。



検索書籍セット画面

■注釈リストの保存先

注釈リストのエクスポートデータの保存先フォルダを選ぶことができます。「参照」をクリックして、保存先フォルダを選択してください。

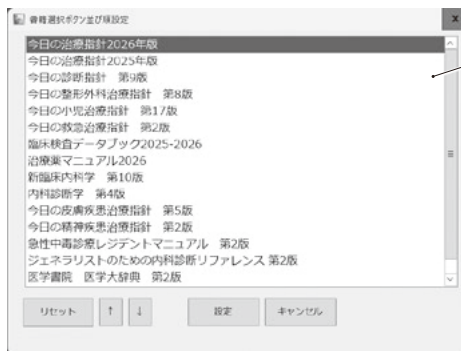
初期状態の既定の保存先は「デスクトップ」です。他のフォルダを指定している場合、「初期化」をクリックすると「デスクトップ」に戻ります。

2.9 書籍選択ボタン並び順設定

コントロールフレーム上の書籍選択ボタンの並び順は変更することができます。



メニューバーの「ファイル」から「書籍選択ボタン並び順設定」または、「ユーザー設定」の「書籍選択ボタン並び順設定」の「設定」を選ぶと、設定ウィンドウが表示されます。



↓ ボタンをクリックすると「今日の治療指針 2026年版」が「今日の治療指針 2025年版」の下に移動します

- 「リセット」 初期設定の並び順に戻します。
- 「↑」「↓」 書籍をマウスで指定し、「↑」「↓」ボタンで並び順を変更します。
- 「設定」 変更を決定します。
- 「キャンセル」 変更をキャンセルし、設定ウィンドウを閉じて通常画面に戻ります。



Chapter 3

さまざまな検索

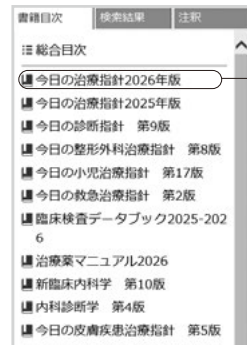
それでは、基本的な操作を実際に行ってみましょう。以下の手順に従って練習してみましょう。

3.1 書籍の目次から検索

書籍の目次から本文を開くように、読みたい部分を探して本文にアクセスすることができます。例として、「今日の治療指針 2026年版」の「第5章 呼吸器疾患」の中にある「気管支喘息」の項目を開いてみます。

- 1 通常、起動直後のリストフレームは「書籍目次」タブが開かれています。開かれていない場合には、「書籍目次」タブをクリックします。「リスト表示」メニューから「書籍目次リスト」を選んで同じ結果になります。

リストフレームに収録書籍のリストが表示されます。すでにいずれかの書籍の目次が開かれている場合には、リスト最上部にある「総合目次」をクリックしてください。



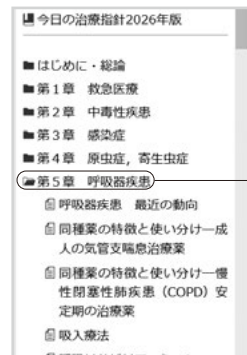
- 2 リストの中から「今日の治療指針 2026年版」を探してクリックします。

リストフレームに「今日の治療指針 2026年版」の目次リストが表示されます。



- 3 「第5章 呼吸器疾患」をクリックします。

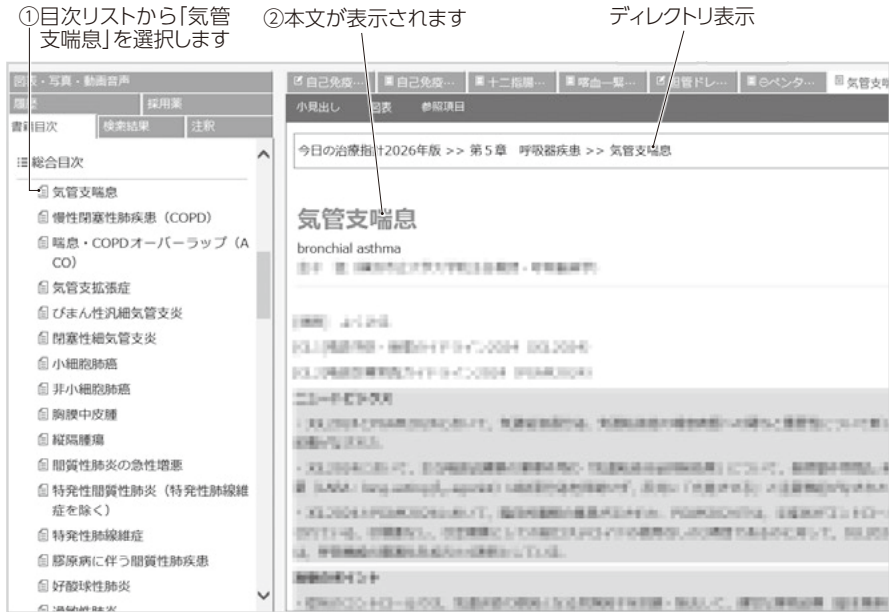
リストフレームに「第5章 呼吸器疾患」の項目一覧が表示されます。



4 「気管支喘息」を探してクリックします。

「気管支喘息」が本文フレームに表示されます。

本文上部のディレクトリ表示をクリックすると、クリックした階層の目次が目次リストに表示されます。



3.2 言葉で検索

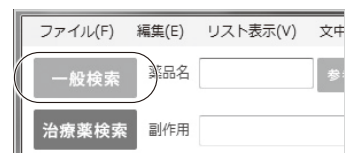
開きたい項目がどの書籍のどこに収録されているのかわかっていれば、前項のように目次機能を使って項目を開くことができますが、目的の項目がどこにあるのかわからない場合には任意の検索語を使った全文検索により、項目を表示することができます。

「今日の診療」には、収録しているすべての書籍に対して、そのときに調べたい言葉を使って検索を行う機能があります。検索を行って、その結果見つかった項目のリストを表示することができます。

3.2.1 症候名で検索

では、まず症候名で検索を行ってみましょう。ここでは「今日の診断指針 第9版」を対象に「発疹」という言葉で検索を行ってみます。

- 1 コントロールフレームが「治療薬検索」になっている場合は「一般検索」ボタンをクリックします。



- 2 画面上部にある書籍選択ボタンのチェックボックスをクリックして「診断」だけがチェックされている状態にします。

これで「今日の診断指針 第9版」が検索対象となります。複数のチェックボックスをクリックして、複数の書籍を検索対象とすることもできます。

「すべて」を何回かクリックするとすべてのチェックボックスのチェックがはずれます。目的の書籍が1つだけのときなどに便利です。

- 3 コントロールフレームの「検索語入力枠」に「発疹」と入力し「検索」ボタンをクリックします。

これで検索が開始されます。検索が終了すると、リストフレームに「発疹」を含む検索結果が表示されます。項目名自体に検索語が含まれる場合は、先頭に★が付きます。

- 4 検索結果から表示したい項目をクリックします。

本文フレームにクリックした項目の内容が表示されます。

「診断」を選択します



The screenshot shows the search results for '発疹' (rash). The search term is entered in the search input field, and the search button is clicked. The results list shows '今日の診断指針 第9版 >> II.疾患編 >> 23.小児疾患 >> 発疹性ウイルス疾患' as the selected item. The main content area displays the details for '発疹性ウイルス疾患' (Viral Exanthematous Diseases in Children). Annotations with numbered circles point to key actions: ① '発疹' and input, ② '検索' button, ③ clicking the search result in the list, and ④ the main content area displaying the result.

①「発疹」と入力します

②「検索」ボタンをクリックします

③リストフレームに検索語を含む検索結果が表示されるので表示したい項目をクリックします

④本文が表示されます

3.2.2 疾患名で検索

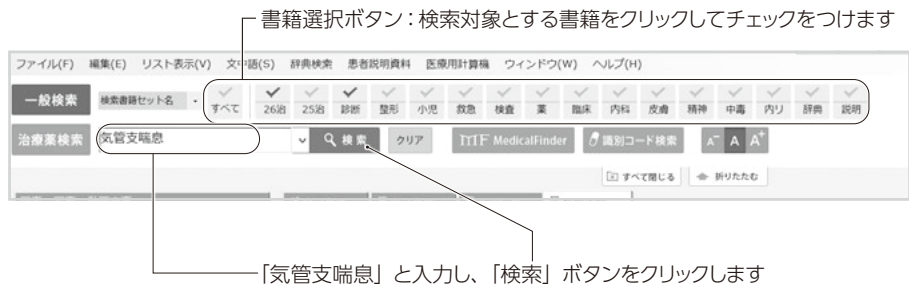
次に疾患名で検索を行ってみましょう。ここでは「今日の治療指針 2026年版」と「今日の診断指針 第9版」を対象に「気管支喘息」という言葉で検索を行ってみます。

- 1 コントロールフレームを一般検索画面にします。



- 2 画面上部にある書籍選択ボタンのチェックボックスをクリックして「26治」のチェックボックスと「診断」のチェックボックスがチェックされている状態にします。

これで「今日の治療指針 2026年版」と「今日の診断指針 第9版」が検索対象となります。「すべて」を何回かクリックするとすべてのチェックボックスのチェックがはずれます。目的の書籍が少ないときなどに便利です。



- 3 コントロールフレームの「検索語入力枠」に「気管支喘息」と入力し「検索」ボタンをクリックします。

これで検索が開始されます。検索が終了すると、リストフレームに「気管支喘息」を含む検索結果が表示されます。

- 4 検索結果から表示したい項目をクリックします。

本文フレームにクリックした項目の内容が表示されます。



3.2.3 MedicalFinder 検索について

「今日の診療」の一般検索で使用した検索語をそのまま使って、電子ジャーナルサービスの検索を行うことができます。検索語とand/orについてもそのまま引き継がれます。ご使用にはインターネット接続環境が必要です。また、本文の閲覧には、別途料金がかかる場合があります。

詳しくは4.8「MedicalFinder 検索」をご覧ください。

- 1 一般検索画面で、検索語入力枠に検索語を入力します。
- 2 「MedicalFinder」ボタンをクリックします。
- 3 Webブラウザが起動し、インターネット上の「MedicalFinder」の検索を行います。

3.3 治療薬マニュアルの検索

「今日の診療」には「治療薬マニュアル2026（以下「治療薬マニュアル」）」が収録されています。

「治療薬マニュアル」は、一般検索画面での全文検索の他に、専用の「治療薬検索」を使って、薬品名や適応症など細かい条件を指定した検索をすることができます。

「治療薬マニュアル」では、「識別コード検索」を使って、マークや英数字による識別コード検索ができます。

※治療薬検索画面では、「治療薬マニュアル」のデータだけを検索対象とするため、「書籍選択」ボタン、「MedicalFinder」ボタンは表示されません。

3.3.1 条件で検索

治療薬検索画面では、「薬品名」「適応症」「禁忌」「副作用」「製薬会社」による検索ができます。ここでは、薬品名「ネリゾナ」で検索してみましょう。

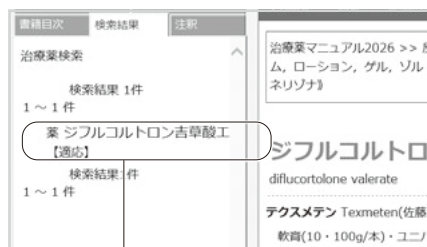
- 1 コントロールフレームの「治療薬検索」ボタンをクリックします。

治療薬検索画面が表示されます。



- 2 「薬品名」の検索語入力枠に「ネリゾナ」と入力し「検索」ボタンをクリックします。

リストフレームに「ジフルコルトロン吉草酸エステル」が表示され本文フレームに本文が表示されます。このように検索結果が1件だけの場合、自動的に本文が表示されますが、2件以上の検索結果がある場合は表示したい項目をクリックしてください。



2件以上ある場合は、表示したい項目をクリック

3.3.2 一般検索画面で検索

「治療薬マニュアル」を対象に目次や任意の言葉で検索するときは、一般検索画面を使って、他の書籍同様全文検索することができます。

検索方法は3.1「書籍の目次から検索」、3.2「言葉で検索」をご覧ください。

3.3.3 識別コードによる検索

「治療薬マニュアル」では、マークや英数字などの識別コードで薬剤を検索できます。

マークで検索

- 1 コントロールフレームの「識別コード検索」ボタンをクリックします。

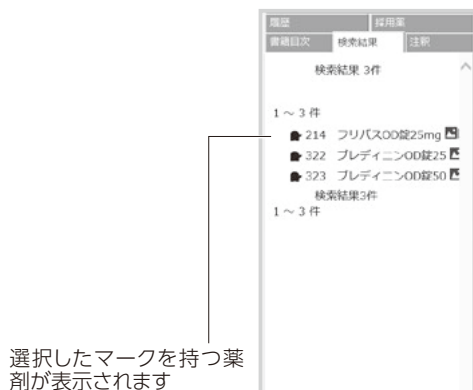
「識別コード検索」画面が別ウィンドウで開きます。



- 2 「マーク選択」リストから目的のマークをクリックし、「検索」ボタンをクリックします。



「識別コード検索」画面が閉じ、リストフレームに選択したマークを持つ薬剤が表示されます。



3 目的の薬剤をクリックします。

本文フレームに薬剤の本文が表示されます。



識別コードで検索

1 コントロールフレームの「識別コード検索」ボタンをクリックします。

「識別コード検索」画面が別ウィンドウで開きます。

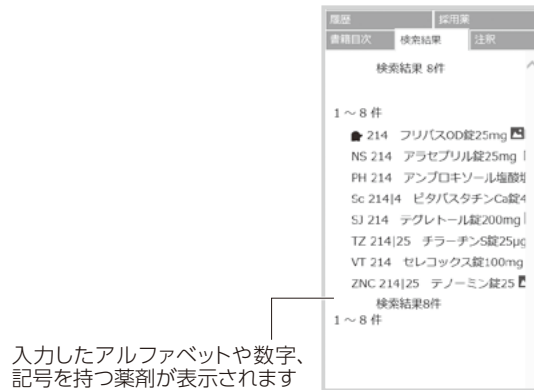


2 「識別コード検索」の入力欄にアルファベットや数字、記号を入力し、「検索」ボタンをクリックします。

※複数の検索語 (and 検索など) には対応しておりません。



「識別コード検索」画面が閉じ、入力したアルファベットや数字、記号を持つ薬剤が表示されます。



3 目的の薬剤をクリックします。

本文フレームに薬剤の本文が表示されます。



マークと識別で検索

「マーク選択」から目的のマークをクリックし、「識別コード検索」の入力欄にアルファベットや数字、記号を入力して「検索」ボタンをクリックすることで、マークと識別コードを組み合わせたand検索をすることができます。

3.3.4 参考ボタンを使った検索支援

治療薬検索画面では「薬品名」などの検索語入力枠に検索語を入力して検索を行うことができます。また、「薬品名」と「製薬会社」の入力枠には検索語の入力を支援する「参考」ボタンがあります。ここでは、薬品名の「参考」ボタンの使い方を試してみましよう。

- 1 治療薬検索画面で「薬品名」の検索語入力枠の右側にある「参考」ボタンをクリックします。

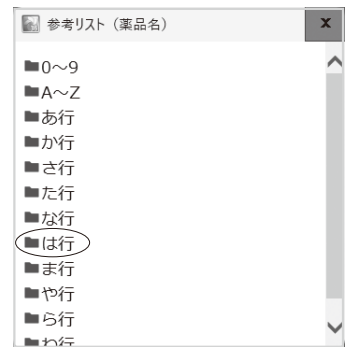
いずれかの検索語入力枠に言葉が入力されている場合は、「参考」ボタンをクリックする前に「クリア」ボタンをクリックして、検索語入力枠を空にしてください。

「参考リスト(薬品名)」画面が開き「0～9」「A～Z」「あ行」「か行」「さ行」…といった階層をたどっていくと、薬品名の候補が表示されます。



- 2 検索したい語の先頭の文字をクリックします。ここでは「ハイゼントラ」とします。

まず「は行」の「は」、さらに「はあ～はく」を開いて「ハイゼントラ」を探します。また、入力枠に「はい」まで入力して参考ボタンをクリックすると、「はい」(読み)で始まる薬品名が一覧表示されます。



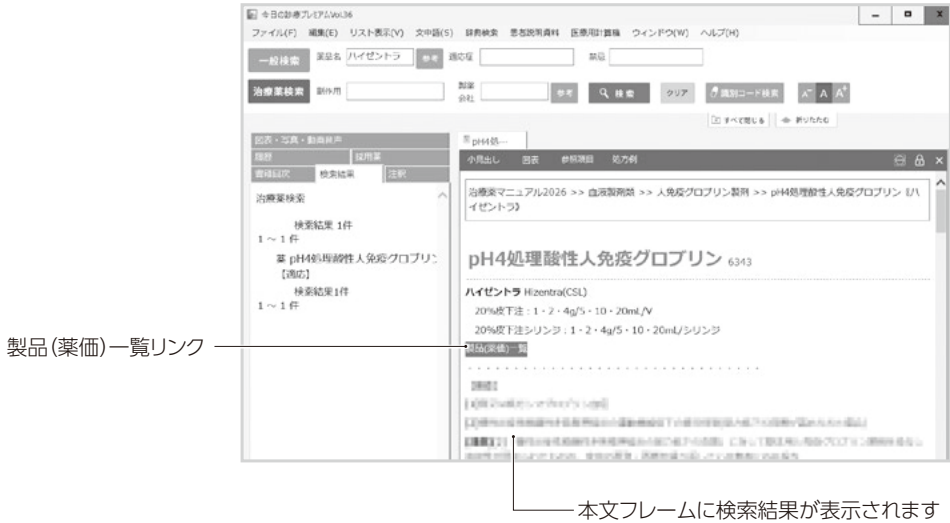
- 3 「ハイゼントラ」をクリックします。

薬品名の検索語入力枠に「ハイゼントラ」と自動的に入力されます。



4 検索を自動実行します。

リストフレームに検索結果が表示され、この例では結果が1件だけなので同時に本文フレームに本文が表示されます。



ご注意! 検索結果が1件だけの場合、自動的に本文が表示されますが、2件以上の検索結果がある場合は表示したい項目をクリックしてください。

製品(薬価)一覧

本文見出し下にある「製品(薬価)一覧」リンクをクリックすると、「製品(薬価)一覧」ウィンドウが開きます。

※収録データは2026年4月1日改定のものです。

製品名	薬価	製薬会社
フリバス錠 2.5mg	¥18.5 / 錠	旭化成ファーマ
ナフトピジル錠 2.5mg 「J G」	¥10.4 / 錠	長生堂製薬
ナフトピジル錠 2.5mg 「タカタ」	¥10.4 / 錠	高田製薬
ナフトピジル錠 2.5mg 「日医工」	¥10.4 / 錠	日医工
フリバス錠 5.0mg	¥36.5 / 錠	旭化成ファーマ
ナフトピジル錠 5.0mg 「日医工」	¥10.4 / 錠	日医工
ナフトピジル錠 5.0mg 「J G」	¥13.7 / 錠	長生堂製薬
ナフトピジル錠 5.0mg 「タカタ」	¥13.7 / 錠	高田製薬
フリバス錠 7.5mg	¥44.7 / 錠	旭化成ファーマ
ナフトピジル錠 7.5mg 「タカタ」	¥15.5 / 錠	高田製薬
ナフトピジル錠 7.5mg 「日医工」	¥15.5 / 錠	日医工
ナフトピジル錠 7.5mg 「J G」	¥20.5 / 錠	長生堂製薬
フリバスOD錠 2.5mg	¥18.5 / 錠	旭化成ファーマ
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「D S E P」	¥10.4 / 錠	第一三共エスファ
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「F F P」	¥10.4 / 錠	富士フィルムファーマ
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「J G」	¥10.4 / 錠	日本エネリック
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「N I G」	¥10.4 / 錠	日医工硝子工場
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「I T C K」	¥10.4 / 錠	藤田化学
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「Y D」	¥10.4 / 錠	菊池堂
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「タミファ」	¥10.4 / 錠	日本薬研工業
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「サツイ」	¥10.4 / 錠	沢井製薬
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「タカタ」	¥10.4 / 錠	高田製薬
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「トーフ」	¥10.4 / 錠	東和薬業
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「ニプロ」	¥10.4 / 錠	ニプロ
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「フソー」	¥10.4 / 錠	シオノグミカル
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「曹林」	¥10.4 / 錠	キョーリンメディオ
ナフトピジルOD錠 2.5mg 「日医工」	¥10.4 / 錠	日医工
フリバスOD錠 5.0mg	¥36.5 / 錠	旭化成ファーマ
ナフトピジルOD錠 5.0mg 「F F P」	¥10.4 / 錠	富士フィルムファーマ

Chapter 4

もっと便利な使い方

「今日の診療」には、さらに多彩な使い方を可能にする機能が搭載されています。ここではそれらの機能の便利な利用法や、高度な利用法をご紹介します。

4.1 文中語の検索

現在表示中の本文中の言葉（文中語）を指定すると、その用語を検索語としてさらに新たな項目を検索することができます。

4.1.1 文中語を使ってすぐに検索する

文中語を使ってすぐに検索できます。

- 1 表示中の本文フレームの任意の言葉をドラッグして選択します。

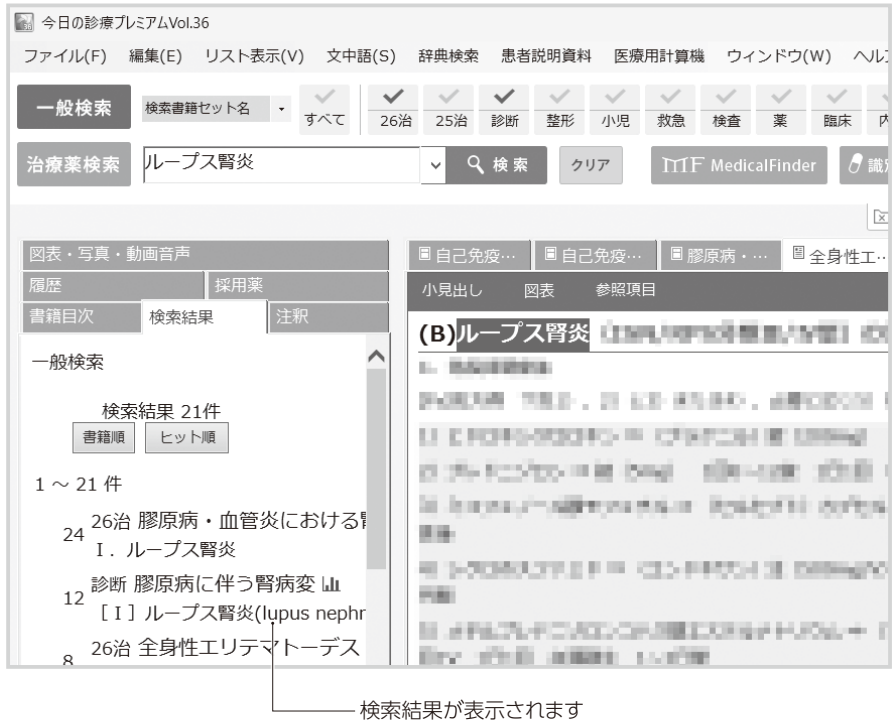


検索したい言葉をドラッグして選択します

2 メニューバーの「文中語」メニューから「すぐに検索」を選びます。



選択した言葉（文中語）が検索語入力枠に自動入力され、即座に検索が実行されます。



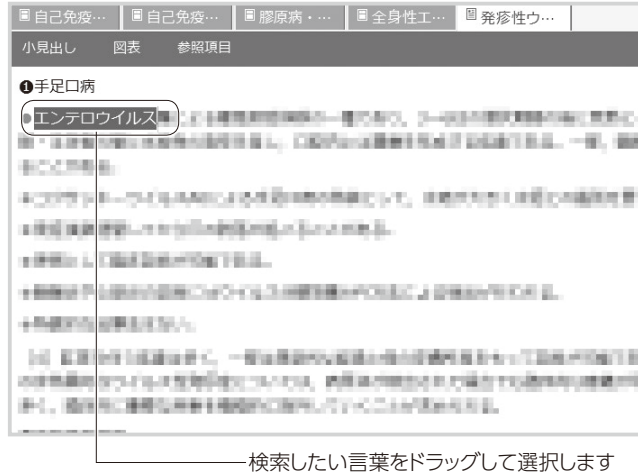
選択範囲を右クリックして「すぐに検索」を選んでも同様の結果となります。

すでに検索語入力枠に言葉が入力されている場合は、上書きされますのでご注意ください。

4.1.2 医学大辞典検索

選択した言葉（文中語）を「医学書院 医学大辞典」から検索することもできます。

- 1 表示中の本文フレームの任意の言葉をドラッグして選択します。



- 2 メニューバーの「辞典検索」メニューを選びます。

前方一致、後方一致、中間一致の中から、選択した検索方法で検索が実行されます。



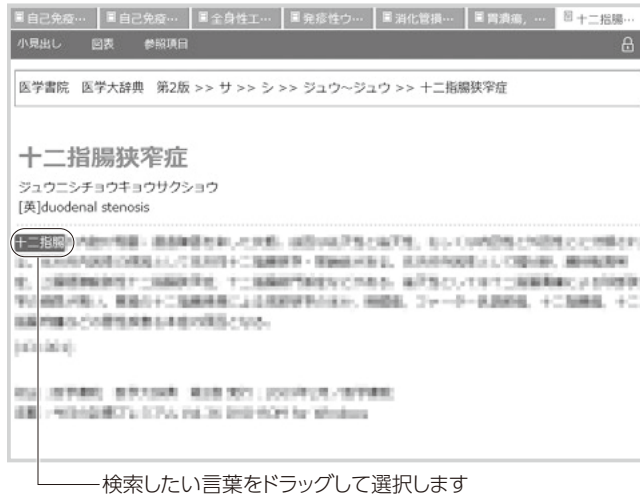
右クリックでも同様の検索が可能です。



4.1.3 選択文字列を検索語入力枠に自動入力する

本文フレームの任意の言葉を選択して、検索語入力枠に自動入力する機能です。

- 1 表示中の本文フレームの任意の言葉をドラッグして選択します。



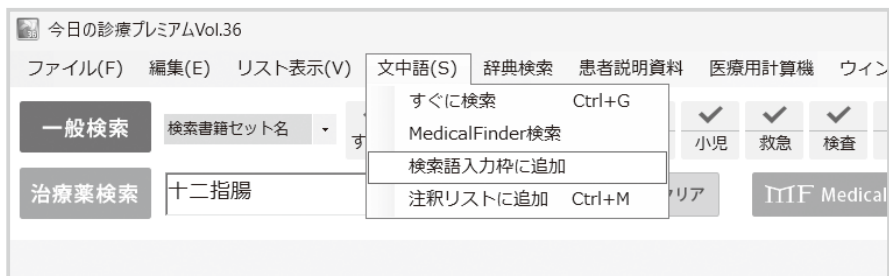
- 2 メニューバーの「文中語」メニューから「検索語入力枠に追加」を選びます。

選択した言葉（文中語）が検索語入力枠に自動入力されます。

選択範囲を右クリックして「検索語入力枠に追加」を選んでも同様の結果となります。

すでに検索語入力枠に言葉が入力されている場合は、and 検索をする形式で検索語が追加されます。

文中語検索機能で追加した検索語をor 検索に切り替える場合は空白を「 | 」に置き換えてください。



4.2 注釈リスト機能

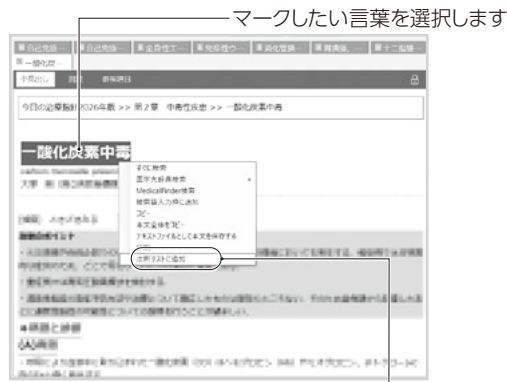
重要な言葉や再度検索する可能性の高い言葉にマーキングをし、本に付箋を付ける感覚で注釈として保存できます。また、その注釈にスタンプ(マーキングとして使用する小さな画像)やメモを記入しておくこともできます。

ご注意! 注釈のメモの内容は「ファイル」メニューやリストフレームから、インポート/エクスポートできます。

4.2.1 文中語を使ってすぐに注釈リストに登録する

- 1 本文中の登録したい言葉をドラッグして選択します。
- 2 選択範囲を右クリックし、「注釈リストに追加」を選びます。

「注釈」ダイアログが開きます。



選択範囲を右クリックし、「注釈リストに追加」を選択します

- 3 メモを記入する場合は、「メモ記入欄」に入力し、「登録」ボタンをクリックします。

メモは全角文字で400文字まで入力できます(改行は全角1文字とみなします)。



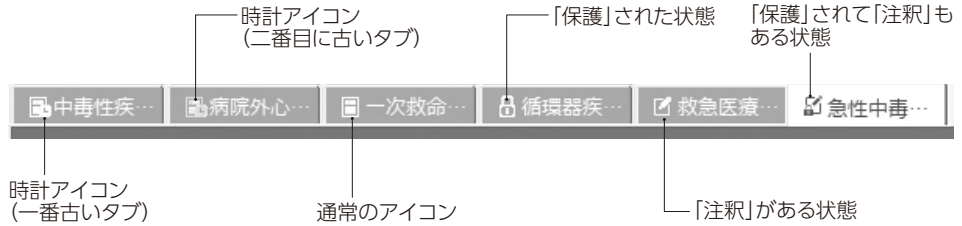
- 4 「スタンプ」を付けたい場合は、「選択」ボタンをクリックして、「画像選択」ウィンドウを開き、使用するスタンプをクリックしてください。

分類などに活用してください。

※「スタンプ」は1つの注釈に1つだけ付けることができます。

5 注釈を設定した本文のタブに注釈があることを示すアイコンが表示されます。

「注釈」のアイコンは次に同じ本文を表示したときにも保持されます。



4.2.2 注釈を付けた項目を表示する

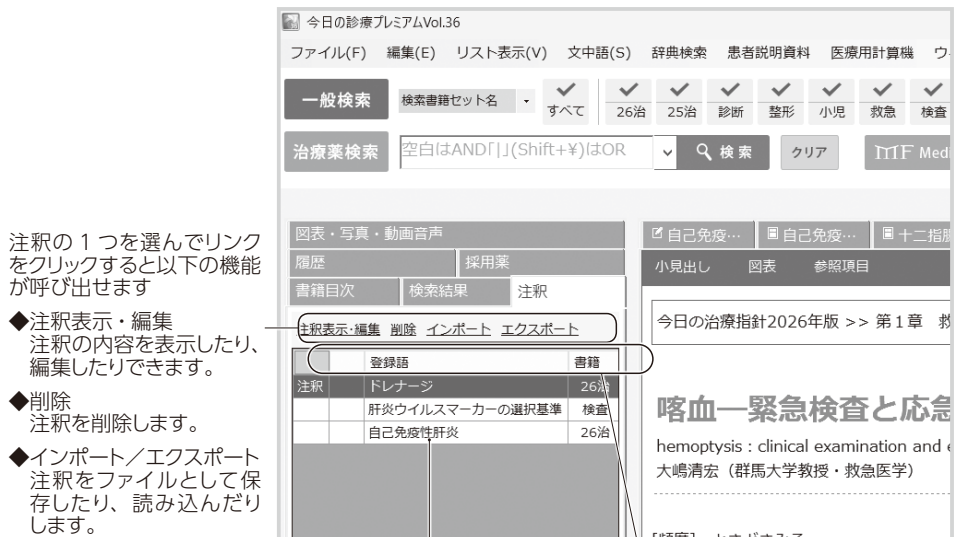
1 メニューバーの「リスト表示」メニューから「注釈リスト」を選択します。

リストフレームに注釈リストが表示されます。



2 表示したい注釈をダブルクリックします。

本文フレームに登録された本文が表示されます。



注釈の1つを選んでリンクをクリックすると以下の機能が呼び出せます

- ◆注釈表示・編集
注釈の内容を表示したり、編集したりできます。
- ◆削除
注釈を削除します。
- ◆インポート/エクスポート
注釈をファイルとして保存したり、読み込んだりします。

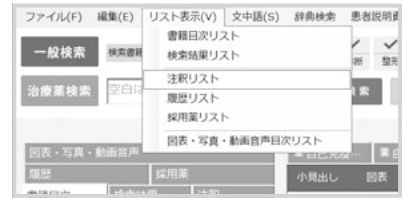
ダブルクリックすると本文フレームに登録された本文が表示されます

この部分をクリックすると注釈を並べ替えることができます

4.2.3 メモを表示したり修正したりする

- 1 メニューバーの「リスト表示」メニューから「注釈リスト」をクリックします。

リストフレームに注釈リストが表示されます。



- 2 メモの内容を修正したい注釈を選択し、「注釈表示・編集」リンクをクリックします。

「注釈」ダイアログが開きます。



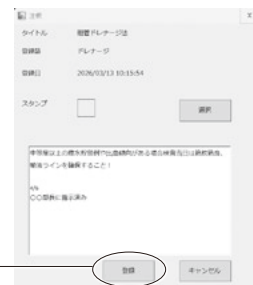
- 3 「スタンプ」を付けたい場合は、「選択」ボタンをクリックして、「画像選択」ウィンドウを開き、使用するスタンプをクリックしてください。

分類などに活用してください。



- 4 編集が終わったら「登録」ボタンをクリックします。

内容を編集後「登録」ボタンをクリック



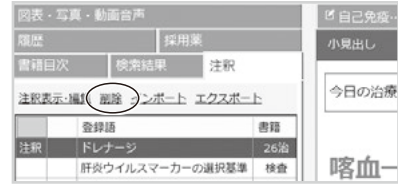
4.2.4 注釈リストから削除する

- 1 リストフレームの「注釈」タブをクリックしてください。

リストフレームに注釈リストが表示されます。「リスト表示」メニューから「注釈リスト」を選んで同じ結果となります。



- 削除したい注釈をクリックして選択し、「削除」リンクをクリックします。「注釈」ダイアログが表示され、下部にある削除ボタンをクリックすると、削除の確認画面が開きますので、「はい」をクリックします。



4.2.5 注釈リストデータのインポート／エクスポート

注釈リストのデータは「エクスポート」リンクのクリックや「ファイル」メニューの「注釈リストエクスポート」をクリックすることにより、ファイルとして保存できます。このファイルは、「インポート」リンクや「ファイル」メニューの「注釈リストインポート」によって読み込むことができます。

ご注意!

すでに注釈が登録されている場合、インポートにより既存のものは消去されてしまいますのでご注意ください。また、別のVolumeの注釈は、正しい項目にひも付かない場合や登録語のハイライトがずれる場合があります。なお、Vol.25までの「今日の診療」にはインポートできません。

4.3 履歴を使った検索

「今日の診療」は履歴機能を持っており、ユーザーが開いた項目（本文）を記憶しています。

- リストフレームの「履歴」タブをクリックします。
- 履歴のリストが表示されるので、表示したい項目を選びます。
- 選択した項目が本文フレームに表示されます。

履歴は100件まで記憶されています。

履歴はリストの最上部に追加され、100件を超えた場合は最下部から削除されていきます。

4.4 採用薬リスト機能

再度検索する可能性の高い採用薬にマーキングをし、本に付箋を付ける感覚で保存できます。

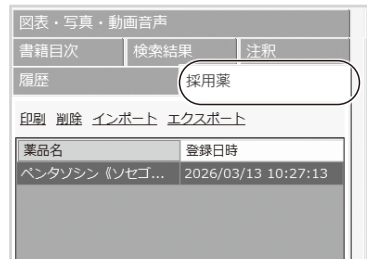
ご注意! 採用薬リストの内容は「ファイル」メニューやリストフレームのリンクから、インポート/エクスポートできます。

4.4.1 「採用薬アイコン」をクリックして採用薬リストに登録する

- 1 「治療薬マニュアル」の項目を表示すると、本文の右上に「採用薬アイコン」が表示されます。



- 2 「採用薬アイコン」をクリックすると、「採用薬リスト」に登録されます。



- 3 登録した本文のタブには採用薬を示すアイコンが表示されます。

「採用薬」のアイコンは次に同じ本文を表示したときも保持されます。

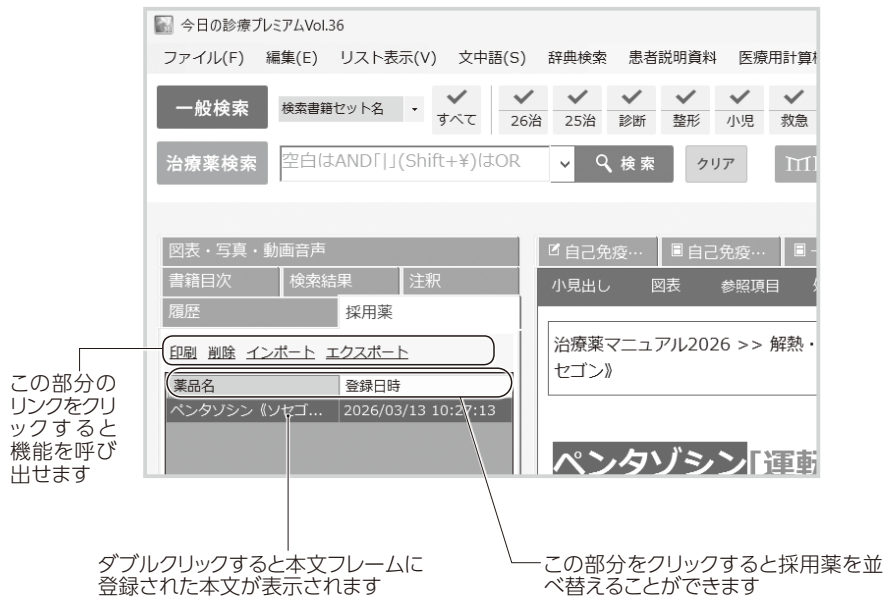


4.4.2 採用薬を表示する

- 1 メニューバーの「リスト表示」メニューから「採用薬リスト」を選択します。
リストフレームに採用薬リストが表示されます。



- 2 表示したい採用薬をダブルクリックします。
本文フレームに登録された本文が表示されます。



4.4.3 採用薬リストから削除する

- 1 リストフレームの採用薬タブをクリックしてください。

リストフレームに採用薬リストが表示されます。「リスト表示」メニューから「採用薬リスト」を選んでも同じ結果となります。



- 2 削除したい採用薬をクリックして選択し、「削除」リンクをクリックします。削除の確認画面が開きますので、「はい」をクリックします。



4.4.4 採用薬リストデータのインポート／エクスポート

採用薬リストのデータは「エクスポート」リンクのクリックや「ファイル」メニューの「採用薬リストエクスポート」をクリックすることにより、ファイルとして保存できます。このファイルは、「インポート」リンクや「ファイル」メニューの「採用薬リストインポート」によって読み込むことができます。

ご注意! すでに採用薬が登録されている場合、インポートにより既存のリストは消去されてしまいますのでご注意ください。また、保存されたファイルは「今日の診療」Vol.26～36にはインポートできませんが、Vol.25までの「今日の診療」にはインポートできません。

4.5 さまざまなリスト表示

「今日の診療」の「リスト表示」メニューから下記の項目を選ぶと、リストフレームに、それぞれのリストが表示されます。リストフレームのそれぞれのタブをクリックしても同様です。

■書籍目次リスト／図表・写真・動画音声目次リスト

「今日の診療」に収録されている「書籍」や「図表・写真・動画音声」などの目次を表示します。

■検索結果リスト

直前に行った検索の結果を表示します。

■注釈リスト

注釈を一覧表示します。項目を選んで「注釈表示・編集」リンクをクリックするとメモの表示や編集ができます。

■履歴リスト

これまでに表示した本文項目名を一覧表示します。項目をクリックすると、その本文を表示します。

■図表 (本文機能バー内 → P.23)

現在表示されている本文中の図表をリスト表示します。図表リストに表示された図表をクリックすると、別ウィンドウが開き、その図表が表示されます。

※本文内に図表が含まれていない場合、クリックしても別ウィンドウは開きません。

4.6 ショートカット機能とキーボード操作

「今日の診療」では、ショートカットが用意されており、キーボード入力によってメニューコマンドを実行できます。また、アロー（矢印）キーやTabキーを使って、入力枠を移動したりフレームを移動したりすることができます。

詳しくはChapter 5「キーボードショートカットおよびメニュー項目一覧」をご覧ください。

ショートカットキーの例

ショートカットキーの例を以下に示します。

[Ctrl] + **[S]** アクティブな本文フレームの内容をテキストファイルとして保存する。

[Ctrl] + **[C]** アクティブなフレームで選択中の文字列をクリップボードにコピーする。

Home キー、End キーの機能

■リストフレーム

表示されているリストの最上部、最下部を表示します。

■本文フレーム

表示されている本文の最上部、最下部を表示します。

PageUp キー、PageDown キーの機能

■リストフレーム

表示されているリストを1画面分上下にスクロールできます。

■本文フレーム

表示されている本文を1画面分上下にスクロールできます。

Return キー、Enter キーの機能

検索語入力枠に文字が入力されている場合は、検索を実行します。

4.7 データの活用と印刷

「今日の診療」のデータを印刷したり書き出したりすることで活用できます。

ご注意! 「今日の診療」は著作権法により保護されており、コピーまたは印刷した内容は、個人としてご使用になる以外の使い方はできません。したがって公に配布したり、販売したりすることはできません。

4.7.1 コピー

表示中の本文の文章をコピーして、テキストエディタやワープロなどの文書に貼り付けることができます。

- 1 本文中から必要な部分を選択します。
- 2 メニューバーの「編集」メニューから「コピー」を選択します。
- 3 コピーした文章を、ワープロソフトなどのドキュメントへ「貼り付け」(ペースト)ます。

※貼り付け(ペースト)した文章の最後に医学書院の著作権表示が入ります。

ご注意! 参照リンクを含んだ表は、罫線、レイアウトの情報はコピーできません。

4.7.2 ファイルとして保存

アクティブな本文フレームの全文を、テキストファイルとして保存することができます。また、画像や図表も、開いている状態からファイルとして保存できます。

※保存した文章の最後に著作の帰属情報が入ります。

- 1 メニューバーの「ファイル」メニューから「テキストファイルとして本文を保存する」を選択します。
- 2 保存する場所を選択し、ファイル名を入れて「保存」をクリックします。

※画像・図表は、ウィンドウ表示をさせた状態でそのウィンドウの「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択します。

4.7.3 印刷

ご使用のPCにプリンターが接続されていれば、表示されている内容を印刷することができます。画像や図表も別ウィンドウに開いている状態から印刷できます。

※印刷した文章の最後に著作の帰属情報が入ります。

- 1 メニューバーの「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。
- 2 印刷の設定を行い「印刷」ボタンをクリックします。

4.8 MedicalFinder 検索*

「今日の診療」では、インターネットに接続できる環境の場合、電子ジャーナルに収録された記事を検索することもできます。

電子ジャーナルの検索は一般検索画面から行えます。

- 1 通常の検索と同様に検索語を入力し、「MedicalFinder」*ボタンをクリックしてください。
- 2 Webページが開き、検索結果が表示されます。

また、「今日の診療」のウィンドウに戻り、「検索」ボタンをクリックすると、同じ検索語で「今日の診療」の検索が行われます。

ご注意!

※ 「MedicalFinder」ボタンは「2.8 ユーザー設定」により非表示にできません。

※ 「MedicalFinder」のご使用には、インターネット接続環境が必要です。また、本文の閲覧には、別途料金がかかる場合があります。

※ 「MedicalFinder」ボタンが表示されていない場合、「ファイル」メニューから「ユーザー設定」を開き、「MedicalFinder 検索ボタンを表示する」のチェックを有効にしてください。

4.9 アプリの状態の保存と復元

「今日の診療」の本文表示状態をファイルに保存したり、ファイルから復元したりします。

この機能を使うことにより、複数のPCに「今日の診療」をインストールしているときに、表示内容を同一にできます。

4.9.1 アプリ状態保存

メニューバーの「ファイル」メニューから「アプリ状態保存」を選択します。

ファイル保存ウィンドウが表示されるので、アプリ状態ファイル(kosファイル)に名前を付けて保存します。

4.9.2 アプリ状態復元

メニューバーの「ファイル」メニューから「アプリ状態復元」を選択します。

「ユーザー設定情報と本文表示内容を破棄して復元します。よろしいですか?」という確認ウィンドウが表示されるので「はい」をクリックします。

ファイル選択ウィンドウが表示されるので、以前保存したアプリ状態ファイル(kosファイル)を選択します。

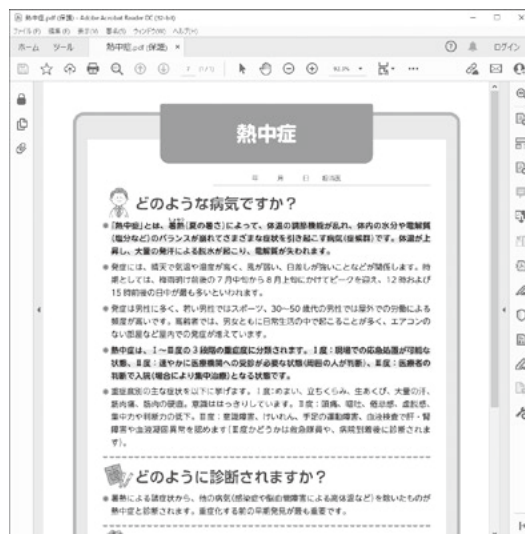
4.10 患者説明資料

患者説明に便利なPDFファイルを表示します。

メニューバーの「患者説明資料」をクリックすると、ボタンの並んだ選択画面が表示されます。



閲覧したい資料のボタンをクリックすると、PCで設定されているアプリケーションで患者説明資料のPDFファイルを表示します。



ご注意! 患者説明資料の著作権は医学書院が保持しています。PDFファイルの複製、送信、改変はご遠慮ください。

4.11 医療用計算機

簡単な医療用計算が行えます。

メニューバーの「医療用計算機」メニューから選択します。

入力枠には数字と半角ピリオドのみ入力できます。

4.11.1 クレアチンクリアランス (Ccr) 推算式

性別・年齢・体重・血清クレアチニン濃度から、クレアチンクリアランスを推算します。

4.11.2 推定蛋白摂取量

尿中尿素窒素濃度・尿量・体重から、蛋白摂取量を推定します。

4.11.3 ACCR (amylase creatinine clearance ratio)

尿中アミラーゼ濃度・血清アミラーゼ濃度・尿中クレアチニン濃度・血清クレアチニン濃度から、ACCRを計算します。

4.11.4 血清（血漿）浸透圧

血清ナトリウム濃度・血清カリウム濃度・空腹時血糖値・血中尿素窒素 (BUN)量から、血清（血漿）浸透圧を計算します。

4.11.5 基礎代謝予測式 (Harris-Benedict)

性別・身長・体重・年齢から、基礎代謝を予測します。



4.11.6 体表面積・BMI・標準体重

身長・体重から、体表面積・BMI・標準体重を計算します。



Chapter 5

キーボードショートカットおよびメニュー項目一覧

■本体ウィンドウ

アクティブな本文タブを閉じる…Ctrl+W

本文タブをすべて閉じる…Ctrl+Alt+W

アクティブな本文フレームの内容をテキストファイルとして保存する…Ctrl+S

本文フレームを印刷する…Ctrl+P

アプリケーションを終了する…Ctrl+Q

アクティブなフレーム内の文字列を全選択する…Ctrl+A

アクティブなフレームで選択されている文字列をコピーする…Ctrl+C

アクティブなフレームの文字列をすべてクリップボードにコピーする…Ctrl+Aの後Ctrl+C

クリップボードの文字列を選択している入力枠に貼り付ける…Ctrl+V

本文フレームを対象に検索を行う「検索ダイアログ」を開く…Ctrl+F

本文フレームで選択されている文字列で一般検索を行う(「すぐに検索」と同一) …Ctrl+G

本文フレームで選択されている文字列を「注釈」として登録する…Ctrl+M

検索対象書籍の「すべてチェック／解除」…Ctrl+D

書籍選択ボタンにフォーカスを当てる…Ctrl+E

書籍選択ボタンのフォーカスを左に移動する…←

書籍選択ボタンのフォーカスを右に移動する…→

フォーカスのあった書籍をチェック／解除する…EnterまたはSpace

検索語入力枠にフォーカスを当てる…Alt+T

入力されている検索語で検索する…Enter

アクティブなフレームの最上段を表示する…Home

アクティブなフレームの最下段を表示する…End

アクティブなフレームの1画面分下を表示する…PageDown

アクティブなフレームの1画面分上を表示する…PageUp

アクティブなフレームを上方向にスクロールさせる…↑

アクティブなフレームを下方向にスクロールさせる…↓

アクティブなリストフレームを上方向にスクロールさせる…Alt+↑

アクティブなリストフレームを下方向にスクロールさせる…Alt+↓

アクティブなリストフレームを左方向にスクロールさせる…←

アクティブなリストフレームを右方向にスクロールさせる…→

アクティブなリストフレーム内でフォーカスを下の項目に移動する… ↓
アクティブなリストフレーム内でフォーカスを上の項目に移動する… ↑
アクティブな本文フレームのタブにフォーカスを当てる… Alt+M
アクティブなリストフレームのタブにフォーカスを当てる… Alt+L
次のリンク/フレーム/ボタン/入力枠などにフォーカスを移動する… Tab
前のリンク/フレーム/ボタン/入力枠などにフォーカスを移動する… Shift+Tab
文字サイズ調整 (ズーム倍率変更) … Ctrl+ ↑ または ↓
文字サイズ初期化 (ズーム初期化) … Ctrl+0
「ユーザー設定」画面を開く… Ctrl+Alt+S
「検索結果ソート設定」画面を開く… Ctrl+Alt+O

■ テキスト表 (リンク等を含んだテキスト形式の表) ウィンドウ

アクティブなテキスト表ウィンドウを閉じる… Ctrl+W
アクティブなテキスト表ウィンドウを印刷する… Ctrl+P
アクティブなテキスト表ウィンドウで選択されている文字列をコピーする… Ctrl+C
アクティブなテキスト表ウィンドウの最上段を表示する… Home
アクティブなテキスト表ウィンドウの最下段を表示する… End
アクティブなテキスト表ウィンドウの1画面分下を表示する… PageDown
アクティブなテキスト表ウィンドウの1画面分上を表示する… PageUp
アクティブなテキスト表ウィンドウを上方向にスクロールさせる… ↑
アクティブなテキスト表ウィンドウを下方向にスクロールさせる… ↓
次のリンクにフォーカスを移動する… Tab
前のリンクにフォーカスを移動する… Shift+Tab

■ 図表ウィンドウ

アクティブな図表ウィンドウをJPEGファイルとして保存する… Ctrl+S
アクティブな図表ウィンドウを印刷する… Ctrl+P
アクティブな図表ウィンドウを閉じる… Ctrl+W
アクティブな図表ウィンドウをコピーする… Ctrl+C

◆ メニューバー機能呼び出しショートカット

※この表の見方と活用例: 「印刷」を行う場合、次の3通りのキーボード操作が可能です。

本体ウィンドウがアクティブな状態で

- ① Ctrl+P キーを押す
- ② Alt+F キーを押し、P キーを押す
- ③ Alt+F キーを押し、↓ キーを3回押してからEnter キーを押す

■ショートカット一覧

※「-」が入っているところは該当するキーはありません。

ファイル (Alt+F)	本文タブを閉じる (C)	Ctrl+W
	本文タブをすべて閉じる (W)	Ctrl+Alt+W
	テキストファイルとして本文を保存する (S)	Ctrl+S
	アプリ状態復元	—
	アプリ状態保存	—
	印刷 (P)	Ctrl+P
	ユーザー設定	Ctrl+Alt+S
	検索結果ソート設定	Ctrl+Alt+O
	書籍選択ボタン並び順設定	Ctrl+Alt+B
	注釈リストインポート	—
	注釈リストエクスポート	—
	採用薬リスト印刷	—
	採用薬リストインポート	—
	採用薬リストエクスポート	—
	終了 (X)	Ctrl+Q
編集 (Alt+E)	コピー	Ctrl+C
	貼り付け	Ctrl+V
	検索語に追加貼り付け	—
	本文全体をコピー	Ctrl+A の後 Ctrl+C
	本文内検索	Ctrl+F
リスト表示 (Alt+V)	書籍目次リスト	—
	検索結果リスト	—
	注釈リスト	—
	履歴リスト	—
	採用薬リスト	—
	図表・写真・動画音声目次リスト	—
文中語 (Alt+S)	すぐに検索	Ctrl+G
	MedicalFinder 検索	—
	検索語入力枠に追加	—
	注釈リストに追加	Ctrl+M
辞典検索	医学大辞典検索	—
	前方一致	—
	後方一致	—
	中間一致	—
医療用計算機	クレアチニンクリアランス (Ccr) 推算式	—
	推定蛋白摂取量	—
	ACCR	—
	血清 (血漿) 浸透圧	—
	基礎代謝予測式	—
	体表面積・BMI・標準体重	—

ウィンドウ (Alt+W)	折りたたむ (開く)	—
	別ウィンドウをすべて閉じる	—
ヘルプ (Alt+H)	ヘルプ	—
	医学書院ホームページ	—
	オンラインユーザー登録	—
	バージョン情報	—

■テキスト表ウィンドウ

ファイル (Alt+F)	閉じる (C)	Ctrl+W
	印刷 (P)	Ctrl+P
編集 (Alt+E)	コピー (C)	Ctrl+C

■図表ウィンドウ

ファイル (Alt+F)	名前をつけて保存 (A)	Ctrl+S
	印刷設定 (U)	—
	印刷 (P)	Ctrl+P
	閉じる (C)	Ctrl+W
編集 (Alt+E)	コピー	Ctrl+C
画像イメージ	50%	—
	100%	—
	150%	—
	全体表示	—

◆右クリックメニュー

■本体ウィンドウ (本文フレーム)

すぐに検索

医学大辞典検索

前方一致

後方一致

中間一致

MedicalFinder 検索

検索語入力枠に追加

コピー

本文全体をコピー

テキストファイルとして本文を保存する

印刷

注釈リストに追加

■本文フレーム (タブ用)

閉じる

これ以降に開いた本文をすべて閉じる

これ以前に開いた本文をすべて閉じる

このタブ以外をすべて閉じる

すべてのタブを閉じる

本文全体をコピー

テキストファイルとして本文を保存する

印刷

別ウィンドウで開く

タブを保護する

採用薬リストに追加

■検索語入力枠

元に戻す

切り取り

コピー

貼り付け

削除

すべて選択

貼り付けて検索

今日の診療プレミアム Vol.36 DVD-ROM for Windows ユーザーサポート用紙

この用紙をコピーしてFAXしてください(サポート期間:2028年12月31日まで)。

電子メールでのお問い合わせの際には、必ず商品名とご使用のPC環境、ならびに詳しい症状をお知らせください。

医学書院 情報ソリューション部 EP開発1課

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

FAX 03-3815-2365 TEL 03-3817-5799(直通)

E-mail customer@igaku-shoin.co.jp

氏名	購入先		
TEL	FAX	e-mail	
住所 〒			
プロダクトID			
【症状】 (お問い合わせの際は、必ず商品名とご使用のPC環境・詳しい症状をお知らせください)			
【機器構成・システム】			
機種名・型番 :			
メモリ :			
HDD(空き容量) :			
OS名 :			
【その他】			
【弊社記入欄】			

Memo

Memo